SHARP

AQUOS *L*2

SH-L02

取扱説明書

はじめに

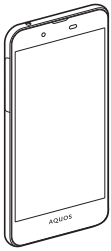
お買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

操作方法を確認する

クイックスタートガイド（本体付属品）
各部の名称と機能やご利用にあたっての注意事項などについて説明しています。
取扱説明書（本書）
機能の詳しい案内や操作について説明しています。 次のサイトでダウンロード http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shl02/manual/index.html ※ 最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

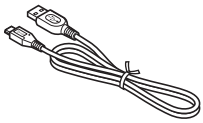
- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はホームアプリがFeel Home、本体色がWhiteの場合で説明しています。ホームアプリを変更すると、操作手順などが本書の説明と異なる場合があります。
- 本書の本文中においては、「SH-L02」を「本端末」または「端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。

本体付属品



SH-L02本体
（保証書付き）

クイックスタートガイド



SH-AC03（ACアダプター／microUSBケーブル）※

※SHU31SKV ／ SHU31SWV にのみ付属されます。

- 本端末に対応する別売品については次のサイトをご覧ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shl02/index.html

目次

本製品のご利用について.....2
安全上のご注意(必ずお守りください).....3
取り扱い上のご注意.....8
内蔵電池の交換について.....10
リサイクルについて.....11
防水／防塵性能.....11

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能.....14
nanoSIMカード.....15
充電.....16
電源を入れる／切る.....17
基本操作.....18
文字入力.....20
初期設定.....22
着信／充電ランプ.....25
画面表示／アイコン.....25
ホーム画面.....28
アプリ使用履歴.....30
マルチウィンドウ.....31
ホーム切替.....31
アプリ初回起動時の確認画面について.....31

電話

電話をかける.....33
電話を受ける.....34
通話中の操作.....34
発着信履歴.....35
通話設定.....35
電話帳.....35

メール／ウェブブラウザ

CosmoSia.....38
Gmail™.....38
Chrome.....39

アプリ

Play ストア.....41
おサイフケータイ.....41
SHカメラ.....43
アルバム.....45
GPS／ナビ.....46
YouTube.....47
アラーム・時計.....47
カレンダー.....48
電卓.....49
からだメイト.....49

端末設定

設定メニュー.....51
プロフィール.....51
通知.....51
音.....51
ヒカリエモーション.....52
ディスプレイ.....52
便利機能.....53
エモバー.....54
省エネ＆バッテリー.....55
アプリ.....56
ストレージ.....56
メモリ.....56
タップ＆ペイ.....56
データ使用量.....57
もっと見る.....57
位置情報.....58
ロックとセキュリティ.....58
言語と入力.....60
バックアップとリセット.....60
Google™.....62
日付と時刻.....62
ユーザー補助.....62
印刷.....62
端末情報.....63

ファイル管理

ストレージ構成.....64
コンテンツマネージャー.....65

データ通信

Bluetooth®機能.....67
NFC通信.....69

外部機器接続

パソコンとの接続.....70
プリントサービスによる印刷／保存.....70
USBホスト機能.....70
ワイヤレス出力.....70
VPN(仮想プライベートネットワーク).....71

付録／索引

トラブルシューティング(FAQ).....72
保証とアフターサービス.....74
システムアップデート.....74
主な仕様.....75
携帯電話機の比吸収率(SAR)について.....76
Regulatory information.....77
FCC Notice.....78
輸出管理規制.....78
知的財産権について.....79
索引.....81

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。（ただし、LTE／WiMAX 2+／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。）
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用しての接続はできません。
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、各ネットワークサービスは地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的に通信事業者に送信いたします。
- 海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先・メール・ブックマークなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影などした静止画／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品（オプション品含む）の回収にご協力ください。

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

※1　重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2　軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3　物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。	濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の6項目に分けて説明しています。

● 本端末、ACアダプター、microUSBケーブル、nanoSIMカードの取り扱いについて（共通）..... P.3
● 本端末の取り扱いについて P.4
● ACアダプター、microUSBケーブルの取り扱いについて P.6
● nanoSIMカードの取り扱いについて P.7
● 医用電気機器近くでの取り扱いについて P.7
● 材質一覧..... P.7

本端末、ACアダプター、microUSBケーブル、nanoSIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

指示
本端末には、必ず指定のACアダプター・microUSBケーブルをご使用ください。
指定以外のものを使用した場合は、内蔵電池の漏液、発熱、破裂、発火や、ACアダプター・microUSBケーブルの発熱、発火、故障などの原因となります。

禁止
高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水／防塵性能については以下をご参照ください。
☞P.11「防水／防塵性能」

禁止
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞P.11「防水／防塵性能」

禁止
本端末にmicroUSBケーブルをうまく取り付けできないときは、無理に行わないでください。microUSBプラグの向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。
内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火させるなどの原因となります。また外部接続端子を破損、焼損させる原因となります。

分解禁止
分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水濡れ禁止
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞P.11「防水／防塵性能」

水濡れ禁止
充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞P.11「防水／防塵性能」

⚠警告

禁止
落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水／防塵性能については以下をご参照ください。
☞P.11「防水／防塵性能」

禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。

禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。

禁止

本端末からmicroUSBケーブルを取り外す際は、コードを引っ張らず、microUSBケーブルのmicroUSBプラグを持って取り外してください。
コードを引っ張るとコードが傷ついたり、端子の破損による火災や感電などの原因となります。

指示

本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようご注意ください。
アプリ、通話、データ通信や動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やACアダプター・microUSBケーブルの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて

⚠危険

禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

内蔵電池内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
内蔵電池内部の物質などの影響により、失明などの原因となります。

指示

ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告

指示

屋外で使用中に雷が鳴り出したら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。
落雷や感電の原因となります。

禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。

禁止

本端末内のnanoSIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、nanoSIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。
運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

禁止

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止

着信音が鳴っているときや、本端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。
☞P.7「材質一覧」

指示

本端末の受話口／スピーカー部、アウトカメラ部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

指示

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳を痛めたりする原因となります。

ACアダプター、microUSBケーブルの取り扱いについて

⚠警告

禁止

microUSBケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

ACアダプター・microUSBケーブルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプター・microUSBケーブルには触れないでください。
感電などの原因となります。

禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

microUSBケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

コンセントにACアダプターを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

ACアダプターに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。

禁止

本端末にACアダプターとmicroUSBケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

充電中は、布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。また布や布団で覆った状態で、就寝しないようにしてください。
熱がこもって火災、やけど、故障などの原因となります。

禁止

microUSBケーブルをACアダプターに差し込むときや、ACアダプターにmicroUSBケーブルを接続した状態では、接続部に異物や液体などを入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

本端末・ACアダプター・microUSBケーブルが濡れている状態では、プラグを絶対に接続しないでください。
本端末は防水性能を有しておりますが、濡れた状態でプラグを挿入すると、本端末やプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でACアダプターやmicroUSBケーブル、充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
指定のACアダプター:AC100V～240V(家庭用ACコンセント専用)

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

ACアダプターをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、microUSBケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、ACアダプターを持って抜いてください。
microUSBケーブルを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

本端末にmicroUSBケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

使用しない場合は、ACアダプターを持って電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が入った場合は、直ちにACアダプターを持って、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、必ずACアダプターを持って電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

コンセントにつないだ状態でACアダプター・microUSBケーブルに長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

禁止

ACアダプターをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。

指示

ACアダプターをテーブルタップに接続しているときは、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。
火災や故障の原因となります。

nanoSIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示　nanoSIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」(電波環境協議会［平成26年８月］)および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」(総務省)の内容を参考にしたものです。

⚠警告

指示　植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示　自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示　身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示　医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ面(ガラス部)	強化ガラス／防汚コート
ディスプレイ面(保護フィルム部)	PET樹脂／AFコート、ハードコート
ディスプレイ面の周囲	PA樹脂(ガラス入り)／塗装、ハードコート
背面	PC樹脂＋ABS樹脂／UV塗装
電源キー	アルミニウム／アルマイト処理
音量UP／DOWNキー	アルミニウム／アルマイト処理
カメラパネル	アクリル樹脂／ハードコート
カメラ飾り	アルミニウム／アルマイト処理
モバイルライト	PC樹脂
受話口／スピーカーメッシュ	SUS／塗装
外部接続端子(金属部)	銅合金＋SUS／金メッキ、錫メッキ
外部接続端子(樹脂部)	PA樹脂
nanoSIMカード／microSDカードスロットカバー	PC樹脂／塗装
nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーのヒンジ部	エラストマー樹脂
nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーのパッキン	シリコンゴム
nanoSIMカードスロット	SUS
microSDカードスロット	SUS／ニッケルメッキ
nanoSIMカード取り付け用のトレイ	POM樹脂
IMEIプレート	PET樹脂

ACアダプター(SH-AC03)

使用箇所	材質／表面処理
ACアダプターケース	PC樹脂
ACアダプター電源プラグ部樹脂	PBT樹脂
ACアダプター電源プラグ	真鍮／Niメッキ
USBコネクタの金属シェル	真鍮／Niメッキ
USBコネクタの樹脂部分	PBT樹脂

microUSBケーブル(SH-AC03)

使用箇所	材質／表面処理
USBプラグ	熱可塑性エラストマー
USBプラグの金属部	鋼板／Niメッキ、PBT樹脂
コード部	熱可塑性エラストマー
microUSBプラグ	熱可塑性エラストマー
microUSBプラグの金属部	ステンレス／Niメッキ、液晶ポリマー

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- SH-L02は防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、指定のACアダプターやmicroUSBケーブルにこれらを付着させたりしないでください。
- ACアダプター、microUSBケーブル、nanoSIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。
  身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
  アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
  乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 無理な力がかからないようにお取り扱いください。
  故障やけがの原因となります。
  - ズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - かばんなどに入れるときは、重たいものの下にならないように十分ご注意ください。
- 本端末のディスプレイを堅いもので擦ったり、傷つけないようご注意ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

本端末についてのお願い

- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
  タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
  温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
  風呂場でのご使用については以下をご参照ください。
  ☞P.11「SH-L02が有する防水／防塵性能でできること」
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- 端子に指定品以外のものは、取り付けないでください。
  誤動作したり、破損することがあります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はnanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを閉じた状態でご使用ください。
  水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。
  事故の原因となります。
- 本端末を手に持って使用するときは、送話口／マイク、受話口／スピーカーを塞がないようにご注意ください。
- 近接センサー部をフィルムやシールなどでふさいだり、汚したりしないでください。
  近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
  近接センサーの位置は、以下をご参照ください。
  ☞P.14「各部の名称と機能」
- 内蔵電池は消耗品です。
  十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。内蔵電池を交換してください。なお、内蔵電池は、お客様自身では交換できません。内蔵電池の交換については、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の保管をしないようにご注意ください。
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量がない状態（本端末の電源が入らないほど消費している状態）での保管

  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

- 本端末の表面にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りやすくなっておりますので、ご注意ください。

ACアダプター、microUSBケーブルについてのお願い

- 充電には指定のACアダプター、microUSBケーブルをご使用ください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、ACアダプターやmicroUSBケーブルが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、プラグを変形させないでください。
  故障の原因となります。

nanoSIMカードについてのお願い

- nanoSIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のＩＣカードリーダー／ライターなどにnanoSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- ＩＣ部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、nanoSIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ＩＣを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- nanoSIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- nanoSIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- nanoSIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

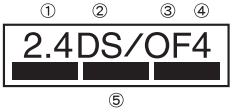
- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
  本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は、ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［端末情報］▶［認証］で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ XX：変調方式がその他の方式であることを示します。
⑤ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑥ ▬▬：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

- Bluetooth機器使用上の注意事項
  本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
  1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
- 周波数帯について
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［端末情報］▶［認証］で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ■■■■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末の無線LANで設定できるチャネルは1～13です。これ以外のチャネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。
利用可能なチャネルは国により異なります。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

- 2.4GHz機器使用上の注意事項
  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
  3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

電波障害自主規制について

- 本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。
  電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。
  ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［端末情報］▶［認証］

FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター，P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライター，P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。
  その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
  ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［端末情報］▶［認証］
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **本端末のFeliCaリーダーおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。**
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

内蔵電池の交換について

内蔵電池は消耗品です。充放電を繰り返すうちに劣化し、使用時間が極端に短くなります。
内蔵電池の劣化は、使用状況や動作環境によって異なりますが、満充電にしても極端に使用時間が短くなったときは、新しい内蔵電池と交換する必要があります。
本端末の内蔵電池はお客様自身では交換できませんので、「保証書に記載のお問い合わせ先」へご連絡いただき、内蔵電池の交換を依頼してください（有償）。

リサイクルについて

本端末に使用していますリチウムイオン電池はリサイクル可能な有益な資源です。リサイクルにご協力をお願いします。
リサイクルについては「保証書に記載のお問い合わせ先」まで、ご相談ください。

■本製品を廃棄するときは

- 各自治体の廃棄ルールに従っていただきますようお願いします。自治体によって規則が異なりますので、お客様がお住まいの各自治体にご確認ください。
- プライバシー保護のため、事前にオールリセットを行って、システムメモリ内のすべてのデータを消去してください(☞P.62「オールリセット」)。

防水／防塵性能

SH-L02は、nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーをしっかりと閉じた状態でIPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところにSH-L02を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。
※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

SH-L02が有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます(1時間の雨量が20mm程度)。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流(6リットル/分以下、常温(5℃～35℃)の水道水)で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください(☞P.12「水に濡れたときの水抜きについて」)。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- 風呂場で使用できます。
  - 湯船や温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水に浸けたり、かけたりしないでください。
    故障の原因となります。
    万が一、水道水以外が付着したり、湯船に落としてしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流して、水抜きおよび自然乾燥を行ってください。
  - 風呂場では、室温は40℃以下、湿度は99%以下、連続2時間以内の範囲でご使用ください。
    その後、必ず所定の方法で水抜きおよび自然乾燥を行ってください。
    なお、全ての機能の連続動作を保証するものではありません。
  - 高温のお湯がかからないようにご注意ください。
  - 急激な温度変化は、結露の原因となります。
    寒い場所から暖かい風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
    また、風呂場で暖まった本製品に冷たい水をかけないでください。
    浸水や故障の原因となります。
  - カメラのレンズやディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
  - 風呂場で、イヤホンマイクや外部機器を接続して使用しないでください。
  - 風呂場では、充電を行わないでください。

ご利用にあたって

防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水／防塵性能を維持するため、nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。
- nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーの開閉については☞P.15「取り付けかた」

> - 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。部品の交換については「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。

注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴や異物がついているときには、nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーの開閉はしないでください。
- nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など)が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。
- nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーと本体の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
  ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、液体や粉塵が入る原因となります。
- 水中で端末を使用(キー操作を含む)しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流(6リットル/分を超える)を直接当てないでください。SH-L02はIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温(5℃～35℃)の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。
- 洗濯機などで洗わないでください。

- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。
  乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカー、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカー、外部接続端子、イヤホンマイク端子などを尖ったものでつつかないでください。
- 端末が水に濡れた状態でイヤホンマイクを挿さないでください。故障の原因となります。
- 指定のACアダプターやmicroUSBケーブルは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。

せっけん／洗剤／入浴剤　海水　プール

温泉　砂／泥

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

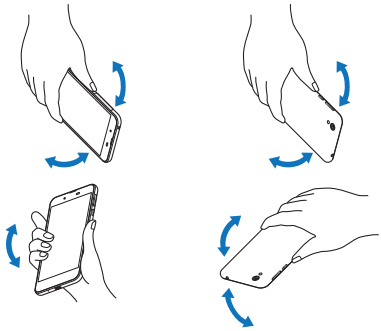
端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

- ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。

2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

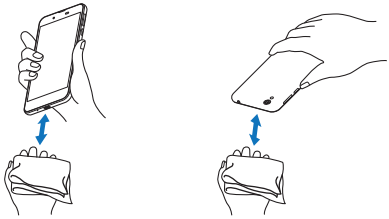
- 周囲の安全を確認して、本端末を落とさないようにしっかり握って振ってください。



水抜きのため、送話口／マイクを下にして振る　水抜きのため、受話口／スピーカーを下にして振る

3 送話口／マイク、受話口／スピーカー、キー、外部接続端子、イヤホンマイク端子、ストラップ取り付け口などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、約3時間自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらいことがありますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

指定のACアダプターやmicroUSBケーブルは防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、自然乾燥させてから、nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを開いてください。

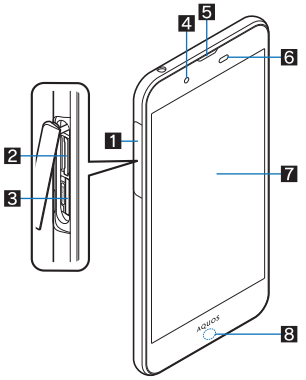
警告

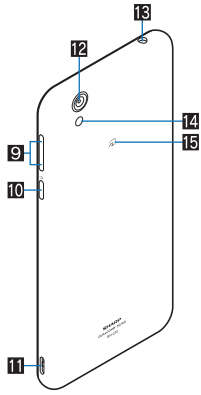
端末に水滴や異物が付着している状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。

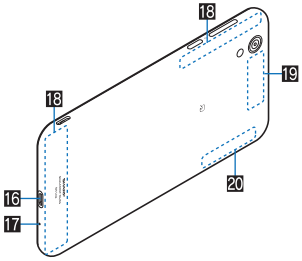
- 端末は防水／防塵性能を有しておりますが、濡れたり汚れたりしている状態でmicroUSBプラグを挿入すると、端末やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手で指定のACアダプターやmicroUSBケーブルに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターやmicroUSBケーブルは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能







1 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバー

2 nanoSIMカードスロット
- nanoSIMカードを取り付けるためのトレイ（緑色）が収納されています。
- nanoSIMカードについては☞P.15「nanoSIMカード」

3 microSDカードスロット
- microSDカードについては☞P.64「microSDカード（外部ストレージ）」

4 インカメラ
- カメラの利用については☞P.43「SHカメラ」

5 受話口／スピーカー
- 通話相手の声や着信音、音楽などがここから聞こえます。

6 近接センサー／明るさセンサー※1
- 近接センサーは、通話中に顔の接近を感知して、タッチパネルの誤動作を防ぎます。
- 明るさセンサーは、周りの明るさを検知して、バックライトの明るさを調整します。

7 ディスプレイ／タッチパネル※2
- タッチパネルの操作については☞P.18「タッチパネルの操作」

8 着信／充電ランプ
- 着信／充電ランプについては☞P.25「着信／充電ランプ」

9 ▯(＋)／▯(－)：音量UP／DOWNキー
- 各種機能で音量を調節します。

10 ▯(⏻)：電源キー
- 電源を入れる／切るときなどに利用します。
- ディスプレイの表示／非表示を切り替えます。
- 電源キーの操作については☞P.17「電源を入れる／切る」

11 ストラップ取り付け口

12 アウトカメラ
- カメラの利用については☞P.43「SHカメラ」

13 イヤホンマイク端子

14 モバイルライト

15 ⌂マーク
- ＩＣカードが搭載されています（取り外しはできません）。
- ⌂マークの利用については☞P.41「おサイフケータイ」、P.69「NFC通信」

16 外部接続端子
- 外部機器との接続については☞P.17「ACアダプターで充電」、P.70「パソコンとの接続」、P.70「USBホスト機能」

17 送話口／マイク
- 通話中や動画撮影時、エモパーにお話しする際などに利用します。

18 内蔵アンテナ※3

19 GPSアンテナ※3

20 Wi-Fi／Bluetoothアンテナ※3

※1　センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。センサーが正常に動作しないことがあります。

※2　対応する市販のフリップカバーを装着すると、フリップカバーの開閉によってディスプレイの表示／非表示を切り替えることができます。装着したフリップカバーは、斜めに閉じるとディスプレイの表示が消えないことがあります。

※3　背面のアンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響をおよぼす場合があります。

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。

受話口／スピーカーについて
- 本端末は受話口とスピーカーを兼用しています。ハンズフリー通話に切り替えたときや通話が終了したときなどは、耳元でスピーカーから大きな音が鳴らないよう、設定した音量まで段階的に上がります。

モバイルライトについて
- モバイルライトを点灯後に長時間使用したり、端末の温度が高くなった場合、モバイルライトが自動的に消灯することがあります。また、端末の温度が高い状態では、モバイルライトが利用できないことがあります。

マイクについて
- マイクを利用する機能を使用する場合は、マイクの穴を塞がないようにしてください。

イヤホンマイクについて
- イヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

nanoSIMカード

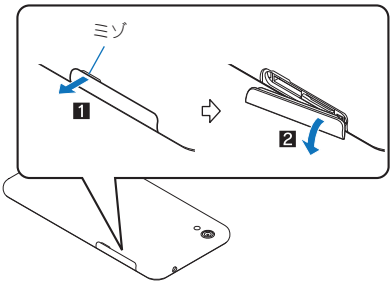
nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているＩＣカードです。

- 日本国内では、通話可能なnanoSIMカードを取り付けないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号があります（☞P.60「PINコード」）。
- nanoSIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。端末は手でしっかり持ってください。

■取り付けかた

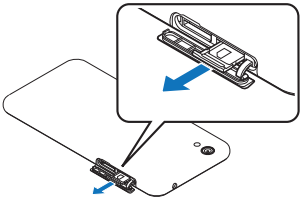
1 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを開く

- ミゾに指先をかけて手前に引き出し（1）、矢印の方向に回転させて開いてください（2）。

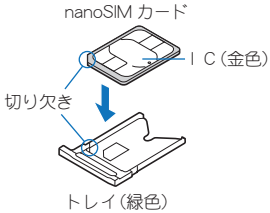


2 nanoSIMカードスロットからトレイ（緑色）を取り外す

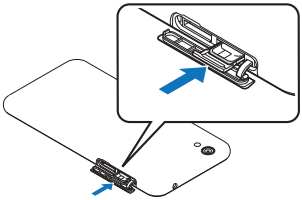
- トレイに指先をかけて、ゆっくりとまっすぐに取り外してください。
- トレイは、nanoSIMカードの取り付けに必要です。紛失しないようにご注意ください。



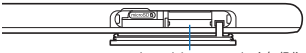
3 nanoSIMカードのＩＣ（金色）面を上に向けて、トレイ（緑色）にセットする



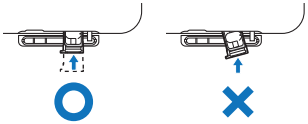
4 トレイ（緑色）をnanoSIMカードスロットにゆっくりと挿入する



- nanoSIMカードスロットは、microSDカードスロットの右にあります。トレイを取り付ける場合、誤ってmicroSDカードスロットに挿入しないようにご注意ください。

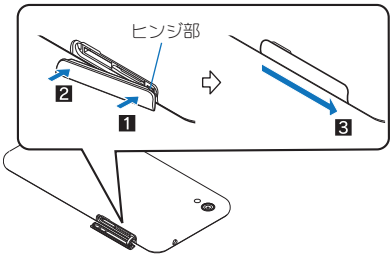


- トレイが傾いた状態や、表裏が逆の状態で無理に挿し込まないでください。nanoSIMカードスロットやトレイが破損することがあります。



5 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを閉じる

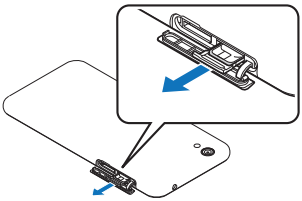
- nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーのヒンジ部を収納し（1）、端末とカバーにすき間が生じないように合わせ、矢印の方向に押して閉じてください（2）。閉じる際は、カバーをヒンジ部の方向へなぞるようにしっかりと押してください（3）。



■ 取り外しかた

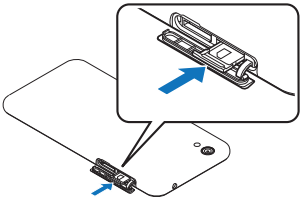
1 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを開く

2 nanoSIMカードスロットからトレイ（緑色）を取り外す



3 トレイ（緑色）からnanoSIMカードを取り外す

4 トレイ（緑色）をnanoSIMカードスロットにゆっくりと挿入する



5 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを閉じる

- nanoSIMカードやトレイを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- nanoSIMカードを取り扱うときは、ＩＣ（金色）に触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとnanoSIMカードが破損したり、トレイが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- nanoSIMカードの詳しい取り扱いについては、nanoSIMカードの取扱説明書を参照してください。
- 取り外したnanoSIMカードは、なくさないようにご注意ください。

IMEIプレートについて

- nanoSIMカードスロットの付近にはIMEI番号（端末識別番号）が記載されたプレートが収納されています。「保証書に記載のお問い合わせ先」にお問い合わせいただく際に、IMEI番号が必要となりますので、引き出さないでください。
- IMEIプレートを無理に引き出したり、力を加えたりすると、破損する恐れがありますのでご注意ください。
- IMEIプレートを引き出してしまった場合は、IMEIプレートが奥に入り込みすぎないよう、ゆっくりと戻してください。

充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

■ 充電時のご注意

- 充電時間の目安については☞P.75「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できます（充電中は電池マークに［ϟ］が重なって表示されます）。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると内蔵電池の充電量が減少します。
  このような場合、指定のACアダプターは再び充電を行います。ただし、ACアダプターから端末を取り外す時期により、内蔵電池の充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

■ 十分に充電したときの利用可能時間（目安）

連続通話時間（国内）	約1,440分
連続通話時間（海外（GSM））	約1,070分
連続待受時間（国内）	約950時間
連続待受時間（海外（GSM））	約1,070時間

- 利用可能時間について詳しくは☞P.75「主な仕様」

■ ACアダプター

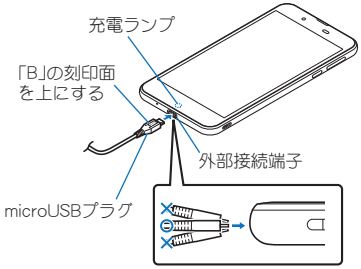
- 指定のACアダプターは、AC100Vから240Vまで対応しています。
- 指定のACアダプターのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。

ACアダプターで充電

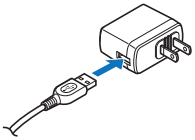
- 次の操作はACアダプター SH-AC03を使用して説明しています。
- SHU31SKU／SHU31SVU／SHU31SWUをお使いの場合は、共通ACアダプタ05（0501PWV）の利用をおすすめします。

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグを、「B」の刻印面を上にして端末の外部接続端子に水平に差し込む

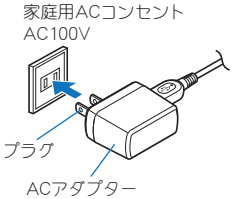
- microUSBプラグの向き（表裏）をよく確かめ、水平に差し込んでください。



2 microUSBケーブルのUSBプラグをACアダプターのUSB接続端子に水平に差し込む



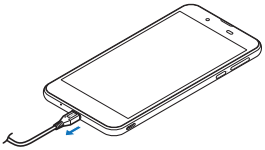
3 ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込むと、充電ランプが点灯して、充電が開始する



4 充電が完了すると、充電ランプが消灯する

5 ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、microUSBケーブルのUSBプラグをACアダプターのUSB接続端子から水平に抜く

6 microUSBケーブルのmicroUSBプラグを外部接続端子から水平に抜く



- 無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子やmicroUSBプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

microUSBケーブルで充電

端末とパソコンを指定のmicroUSBケーブルで接続すると、端末を充電することができます。

- パソコンとの接続方法については☞P.70「パソコンとの接続」

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 ▯(⏻)（2秒以上）

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください（☞P.22「初期設定」）。

■ 電源を切る／再起動

1 ▯(⏻)（1秒以上）

2 項目を選ぶ

- ■ 電源を切る：端末の電源を切ります。
- ■ 再起動：端末を再起動します。

■ ディスプレイの表示／非表示

▯(⏻)を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。
ディスプレイが消えているときに▯(⏻)を押すと、ディスプレイが表示されます。

■ タッチパネルのロック

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはタッチパネルがロックされています。
[🔒]を上にスライドすると、ロックが解除されます。

タッチパネルのロック画面の操作

- マナーモード設定／解除：▯(−)（2秒以上）
- ショートカットの起動・設定：[⋮]を上にスライド
- SHカメラの起動：[📷]を上にスライド
- 通知詳細情報の表示：時計を下にドラッグ
- ステータスパネルの表示：ステータスバーを下にドラッグ

- タッチパネルのロック画面には通知が表示されます。通知の表示については☞P.51「ロック画面の通知」
- [エモバー設定]をONにしている場合、時計の下にエモバーがお伝えするさまざまな情報が表示されます。情報によっては2回タッチすると、関連情報や詳細を確認できます。
  また、[エモバーメモ]がONのときは、タッチパネルのロック画面でエモバーメモが利用できます。
  ・エモバーについては☞P.54「エモバー」

基本操作

タッチパネルやナビゲーションキーの操作、スクリーンショットの撮影など、端末の基本的な操作について説明します。

タッチパネルの操作

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
  - 水中での操作

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタッチすると操作が中止されることがあります。

■ タッチ

画面に表示されるキーや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。

■ ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、タッチパネルに触れたままにするとメニューが表示されることがあります。

■ スライド(スワイプ)/ドラッグ

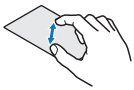
タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどを目的の位置まで移動したりできます。
また、メニューや項目に間違って触れたときにメニューや項目から離れるように指を動かすと、選択を中止できます。

■ フリック

ホーム画面などでタッチパネルをはらうように指を動かすと、ページの切り替えができます。

■ ピンチアウト/ピンチイン

利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる(ピンチアウト)/狭める(ピンチイン)ように指を動かすと、画面の拡大/縮小などができます。



機能利用中の操作

■ ナビゲーションキー

画面下部に表示されるナビゲーションキーを使って基本的な操作を行うことができます。

1 ◁/▽:戻るキー/閉じるキー
- 1つ前の画面に戻します。
- キーボードを閉じます。

2 ○:ホームキー
- ホーム画面を表示します。

3 □/▯:アプリ使用履歴キー/マルチウィンドウキー
- アプリ使用履歴を表示します(☞P.30「アプリ使用履歴」)。
- マルチウィンドウ利用中であることを表します(☞P.31「マルチウィンドウ」)。

■ アシスト機能の利用

アシスト機能に対応したアプリをすばやく起動することができます。

1 [○]をロングタッチ

- 起動するアプリの設定:ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[アプリ]▶[⚙]▶[アシストと音声入力]▶[アシストアプリ]▶アプリを選ぶ

■ メニューを呼び出す

[⋮]/[⋮]/[≡]などのタッチや画面の左端を右にスライド、画面のロングタッチを行うと、その画面で利用できる機能(メニュー)が表示されます。

例:世界時計画面

■ 設定の切替

設定項目の横にチェックボックスなどが表示されているときは、タッチすることで設定の有効／無効やON／OFFを切り替えることができます。

例：モーションでON／OFF画面、日付と時刻画面

- [☑]は有効、[☐]は無効の状態です。

- [ ]はON、[ ]はOFFの状態です。

■ 縦／横表示

端末を傾けたときに画面の表示が切り替わります。

- 表示中の画面によっては、端末の向きを変えても、縦／横表示が切り替わらない場合があります。
- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦／横表示は切り替わりません。
- 音やバイブレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、縦横が正しく表示されない場合があります。
- 自動的に切り替わらないように設定することもできます（☞P.52「ディスプレイ」）。
- 縦表示から横表示にした場合、アプリによっては全画面表示されることがあります。

スクリーンショットの撮影

(⏻)＋(−)を1秒以上押すと、表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、アルバムなどで確認することができます。
- Clip Nowを利用してもスクリーンショットを撮影することができます（☞P.53「Clip Now」）。

- 電子書籍の表示中などは保存できません。
- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

端末内やサイトの情報の検索

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[Google]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- クイック検索ボックスが表示されます。

2 キーワードを入力

1 検索ボックス

- 検索するキーワードを入力します。
- キーワードを入力すると、入力した文字から始まるアプリやデータなどを検索し、一覧表示します。

2 音声検索切替

- マイクに向かって「Ok Google」と発声しても音声検索に切り替わります。

3 検索結果を選ぶ

- 検索結果がアプリの場合は対応するアプリが起動します。
- [画像]などが表示された場合は、ジャンルを選択して検索することができます。
- 検索結果にキーボードが重なって表示される場合は[▽]をタッチしてキーボードを閉じてください。

- 検索結果画面などで[≡]が表示されているときに、[≡]をタッチすると検索の設定ができます。

文字入力

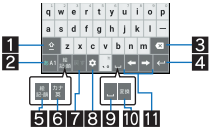
QWERTYキーボードと12キーボードを利用して文字入力をしたり、音声や区点コードで入力したりできます。

- 文字入力時に画面下部の[ ]をタッチすると、使用する入力ソフトを設定することができます。ここでは、[S-Shoin]の場合で説明しています。

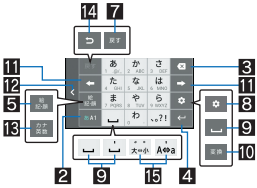
キーボードの見かた

- 次の２種類のキーボードを利用できます。

QWERTYキーボード	文字入力キーをタッチすると表示されている文字を入力できます。ローマ字で文字を入力します。
12キーボード	１つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられています。文字入力キーを上下左右にフリックして、文字を入力します。 ● 入力したい文字が表示されるまで文字入力キーをタッチして、文字を入力することもできます。



QWERTYキーボード



12キーボード

※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 シフトキー
- 大文字／小文字を切り替えるときなどにタッチします。
  - [ ]が表示されているときは小文字が入力されます。[ ]が表示されているときは最初に入力する文字が大文字になります。[ ]が表示されているときは大文字が入力されます。
  - 大文字／小文字を切り替えると、キーボードで入力できる記号も変わります。

2 入力モード切替キー
- 入力モードを変更します。
  - タッチすると、半角英字→半角数字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。右にスライドすると、半角数字→半角英字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。
  - 上にスライドすると、入力モードを一覧から選択することができます。
    - ■ひらがな漢字
    - ■半角英字
    - ■半角数字
    - ■全角英字
    - ■全角数字
    - ■区点コード
  - 各入力モードで設定したキーボードが表示されます。

3 削除キー
- 文字削除キー動作で設定した方向の文字を消します。

4 エンターキー
- 改行します。
- 入力した文字を確定します。
- 検索ボックスなどの入力欄に入力した内容を実行します。
- 次の入力欄に移動します。
- ロングタッチすると、キーボードを閉じます。

5 記号キー
- 絵文字／記号／顔文字リストを表示します。
  - アプリによっては、入力できないものがあります。
- 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。

6 カナ英キー
- 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英字や記号の変換候補（カナ英字変換候補）を表示します。
- 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。

7 戻すキー
- 直前に行った操作を取り消します。

8 設定キー
- 設定メニューを表示します。

9 スペースキー
- スペースを入力します。

10 変換キー
- 入力した文字を変換します。

11 カーソルキー
- カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。

12 配置移動
- [ ]／[ ]をタッチするとキーボードや変換候補欄などを左右に移動します。

13 カナ英数キー
- 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英数字や記号の変換候補（カナ英数変換候補）を表示します。
- 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。

14 逆トグルキー
- 同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。

15 文字切替キー
- 大文字／小文字を切り替えるときにタッチします。
- 濁点／半濁点を付けるときにタッチします。

■キーボードの切替

例：ひらがな漢字入力モードのとき

1 文字入力画面で[ ]▶[入力方式]▶[QWERTYキーボード]／[12キーボード]
- [ ]を上にスライドしても切り替えることができます。

文字入力の設定

■表示・レイアウト

1 文字入力画面で[ ]▶[表示・レイアウト]

2 項目を選ぶ
- ■キーボード調整：キーボードのサイズや変換候補欄の行数、幅寄せ、ガイド表示、デザインについて設定します。
- ■絵文字・記号リスト列数：絵文字・記号リストの列数を設定します。
- ■キー入力ガイド表示：選択したキーの拡大表示やフリック入力のガイドを表示するか設定します。
- ■ソフトキーボード表示：Bluetooth機能などで市販のキーボードを接続して文字入力するときに文字入力画面を表示するか設定します。

■フリック設定・入力補助

1 文字入力画面で[⚙]▶[フリック設定・入力補助]

2 項目を選ぶ

- ■フリック感度:フリック入力をするときの文字選択の感度を設定します。
- ■ガイドの表示速度:フリック入力時のガイドの表示速度を設定します。
- ■トグル入力:トグル入力を利用するか設定します。
- ■キー操作音:文字入力時の操作音の有無を設定します。
- ■キー操作バイブ:文字入力時にバイブレータを動作させるか設定します。
- ■キー操作バイブ時間:キー操作バイブでバイブレータが動作する時間を設定します。
- ■文字削除キー動作:削除キーの動作を設定します。
- ■ローマ字キーボード補助:ローマ字で日本語入力するときに不要なキーをタッチできないように設定します。
- ■自動カーソル移動:文字入力後にカーソルを自動的に右側に移動させる速度を設定します。
- ■絵・記・顔の連続入力:絵文字・記号・顔文字リストで候補選択後にリスト表示を維持するか設定します。

[文字削除キー動作]について

- 文字にカーソルが当たっている場合はカーソル位置の文字を削除します。[左側削除(バックスペース)]に設定したときカーソルが先頭にある場合はカーソル右側の文字を、[右側削除(クリア)]に設定したときカーソルが文末にある場合はカーソル左側の文字を消します。

■変換機能

1 文字入力画面で[⚙]▶[その他の設定]▶[変換機能]

2 項目を選ぶ

- ■予測変換:予測変換を利用するか設定します。
- ■つながり予測:入力確定直後につながり予測候補を表示します。
- ■ワイルドカード予測:ワイルドカード予測を利用するか設定します。
- ■入力ミス補正:入力ミス補正について設定します。
- ■メールいきなり予測:メールの本文入力時に文頭に使用する文章の候補を表示します。
- ■ネット変換エンジン:インターネット上の変換エンジンを利用して変換候補を表示します。
- ■自動大文字変換:半角英字入力で文頭文字を大文字で入力します。
- ■自動スペース入力:半角英字入力で英単語を選択したあと半角スペースを自動的に挿入します。

[自動大文字変換]について

- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

■辞書

1 文字入力画面で[⚙]▶[その他の設定]▶[辞書]

2 項目を選ぶ

- ■ユーザー辞書:ユーザー辞書の単語を編集します。
- ■ダウンロード辞書:ダウンロード辞書の登録/解除/削除をします。
- ■変換辞書の更新:変換辞書の更新やダウンロードをします。
- ■電話帳名前データと連携:電話帳の名前データを辞書に追加/初期化します。

■スライド切替

1 文字入力画面で[⚙]▶[その他の設定]▶[スライド切替]

2 項目を選ぶ

- ■上方向スライド:キーボードを下端から上端までスライドしたときの動作を設定します。
- ■下方向スライド:キーボードを上端から下端までスライドしたときの動作を設定します。
- ■右方向スライド:キーボードを左端から右端までスライドしたときの動作を設定します。
- ■左方向スライド:キーボードを右端から左端までスライドしたときの動作を設定します。

■各種リセット

1 文字入力画面で[⚙]▶[その他の設定]▶[各種リセット]

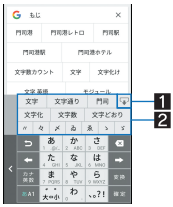
2 項目を選ぶ

- ■設定リセット:S-Shoinの設定をリセットします。
- ■学習辞書リセット:学習辞書をリセットします。
- ■顔文字リセット:顔文字リストの内容をリセットします。

文字入力のしかた

例:「文字」と入力するとき

1 文字入力画面で「もじ」と入力



1 拡大/縮小
- 変換候補欄を拡大/縮小します。

2 変換候補欄
- [予測変換]を有効にしていると表示されます。
- 変換候補をタッチすると入力できます。
- ネット変換エンジンを設定している場合は[ネット変換]が表示されます。タッチするとインターネット上の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

2 [変換]

3 変換候補欄で「文字」を選ぶ

1 範囲縮小／範囲拡大
- 変換する文字の区切りを縮小／拡大することができます。
- 操作可能な場合のみ表示されます。

2 閉じる
- 変換候補欄を閉じます。

3 変換候補欄
- 変換候補をタッチすると入力できます。
- ネット変換エンジンを設定している場合は[ネット変換]が表示されます。タッチするとインターネット上の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

4 確定
- 変換を確定します。

5 予測候補
- 予測候補を表示します。

6 変換候補
- 変換候補を表示します。

7 カナ英数
- カナ英数変換候補を表示します。

■ ワイルドカード予測

入力した文字数から変換候補を予測して表示します。

- あらかじめ[ワイルドカード予測]を有効にしておいてください(☞P.21「変換機能」)。
- ひらがな漢字入力モード、半角英字入力モードのときに利用できます。

例:「アナウンス」と入力するとき

1 文字入力画面で「あな」と入力

2 [➡] ▶ [➡] ▶ [➡]
- [➡]をタッチするたびに[＊]が入力され、文字数に合わせた予測候補が表示されます。

3 変換候補欄で「アナウンス」を選ぶ

■ 区点コードで入力

文字ひとつひとつに付与されている4桁の区点コードを利用して、漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

1 文字入力画面で入力モード切替キーを上にスライド ▶ [区点コード]

2 区点コードを入力
- 4桁目を入力すると、コード入力した文字が表示されます。
- 4桁目を入力すると区点コード入力モードにする前の入力モードに戻ります。

■ 音声で入力

音声で文字を入力することができます。

1 文字入力画面で[⚙] ▶ [入力方式] ▶ [音声入力]
- QWERTYキーボードで[⚙]を右にスライド、12キーボードで[⚙]を下にスライドしても音声入力に切り替えることができます。

2 マイクに向かって話す

- 次の場合は正しく認識できないことがあります。
  - ■ 声が大きすぎる場合
  - ■ 周囲の雑音が大きい場合
  - ■ 発声が明瞭でない場合
  - ■ 発声が不自然な場合
  - ■ 発声速度が速すぎる場合
  - ■ キーを押したり、マイクを触ったりした場合

■ 文字の編集

入力した文字を選択して切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。

1 入力した文字をロングタッチ

2 文字を編集する
- [●]／[●]をドラッグして選択範囲を指定し、文字の切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。[すべて選択]をタッチすると、入力した文字をすべて選択できます。
- [履歴から]をタッチすると、切り取りやコピーを行った文字の履歴が表示されます。文字を選択して貼り付けることができます。
  - ・切り取りやコピーを行った文字の一覧を表示:[⚙] ▶ [アプリ連携・引用(マッシュルーム)] ▶ [コピー履歴SH]
- [共有]をタッチすると、選択した文字を他のアプリで利用できます。
- 表示されていないメニューがある場合、[⋮]が表示されます。タッチするとメニューが表示されます。

- 切り取った文字、コピーした文字は合わせて10件まで保存されます。
- 切り取った文字、コピーした文字が最大保存件数を超えた場合は、古い履歴から順に削除されます。
- 利用するアプリによっては、表示されるアイコンや操作方法が異なる場合があります。

初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 設定項目は次のとおりです。ただし、各設定で選択した内容により、以降に表示される項目は異なります。
  - ■ 言語の設定
  - ■ セットアップ方法の選択
  - ■ ネットワークの選択
  - ■ Googleアカウントの設定(☞P.24「Googleなどのアカウントの設定」)
  - ■ Googleサービス
  - ■ 本端末の所有者名
  - ■ スマートフォンの保護
  - ■ その他の設定項目

アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント※を設定します。

- 本端末には、いくつかの通信事業者に対応したアクセスポイントがあらかじめ登録されています。nanoSIMカードを取り付けた状態で電源を入れると、アクセスポイントが自動で設定されます。
  - ・対応するアクセスポイントが本端末に登録されていない場合は、アクセスポイントを追加で設定してください。以降は電源を入れると設定したアクセスポイントに接続します。

※通信事業者によっては「APN」や「アクセスポイントネーム」とも呼ばれます。

■ 利用中のアクセスポイントを確認

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

■ アクセスポイントを追加で設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶[⊕]

2 [名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶[OK]

3 [APN]▶アクセスポイント名を入力▶[OK]

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶[⋮]▶[保存]

アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

2 [⋮]▶[初期設定にリセット]

- 圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

Wi-Fiの設定

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN(IEEE802.11b/g/n)とBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。

- [Wi-Fi]をONにしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的にパケット通信での接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[Wi-Fi]

2 ONにする

3 アクセスポイントを選ぶ
- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、[接続]を選択してください。
- アクセスポイントを手動で登録:[ネットワークを追加]▶ネットワーク名を入力▶セキュリティを設定▶[保存]

- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード(セキュリティキー)を入力した場合、[IP設定エラー]、[WiFi接続エラー]または[認証に問題]と表示されます。パスワード(セキュリティキー)をご確認ください。なお、正しいパスワード(セキュリティキー)を入力しても[IP設定エラー]と表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定としてWEP、WPA/WPA2 PSK、802.1xEAPに対応しています。
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、[📶]が表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。
このようなアクセスポイントでWi-Fi通信を行うには、アクセスポイントに接続するときに詳細設定項目の[インターネット非接続時も有効]を有効にしてください。

■ Wi-Fiの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[Wi-Fi]▶[⚙]

2 項目を選ぶ
- 保存済みネットワーク:接続したことのあるアクセスポイントを表示します。
- ネットワークの通知:オープンネットワークを検出したときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。
  - [Wi-Fi]をONにしてから設定してください。
- Wi-Fiのスリープ設定:ディスプレイの表示が消えたときにWi-Fiを切断するか設定します。
- MACアドレス:MACアドレスを確認できます。
- IPアドレス:IPアドレスを確認できます。

■ Wi-Fiの詳細設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[Wi-Fi]

2 [⋮]▶[詳細設定]

3 項目を選ぶ
- 証明書のインストール:証明書をインストールします。
- Wi-Fi Direct:Wi-Fi Directについて設定します。
- WPSプッシュボタン:WPSプッシュボタン方式で設定します。
  - アクセスポイントのWPSボタンを押してください。自動的にアクセスポイントを検出し登録が開始されます。
- WPS PIN入力:WPS PIN方式で設定します。
  - 画面に表示されるPINをアクセスポイントに入力してください。

- WPSの登録処理には数分かかります。アクセスポイントの登録処理後、アクセスポイントに適切に接続されていることをご確認ください。

■ アクセスポイントの設定の削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示[設定]▶[Wi-Fi]

2 設定済みのアクセスポイントを選ぶ▶[削除]▶[はい]

テザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器や指定のmicroUSBケーブルまたはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、microUSBケーブルで接続したパソコン1台、Wi-Fi対応機器10台、Bluetooth機器4台の計15台です。
- 本端末は、DUNプロファイルを使ったダイヤルアップ接続に対応しております。
- Bluetoothテザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください（☞P.68「Bluetooth機能の利用」）。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［もっと見る］▶［テザリング］

2 項目を選ぶ

- USBテザリング：USBテザリングを利用するか設定します。
- Wi-Fiテザリング：Wi-Fiテザリングを利用するか設定します。
- Wi-Fiテザリングを設定：ネットワーク名やセキュリティなどWi-Fiテザリングについて設定します。
- Wi-Fiテザリング簡単接続：WPSに対応しているアクセスポイントを利用してテザリングを利用するか設定します。
- Bluetoothテザリング：Bluetoothテザリングを利用するか設定します。

［USBテザリング］について

- テザリング機能は、パソコンのOSがWindows 7、Windows 8.1、Windows 10、Linuxの場合にご利用いただけます。
- USBテザリング中は、本端末に取り付けられたmicroSDカードをパソコンでマウントすることはできません。
- USBテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
http://www.android.com/tether#usb

［Wi-Fiテザリング］について

- 本端末がアクセスポイントとして機能している場合、本端末はWi-Fi接続でインターネットにアクセスすることはできません。
- Wi-Fiアクセスポイントの設定は［Wi-Fiテザリングを設定］で行ってください。
- Wi-Fiテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
http://www.android.com/tether#wifi

［Wi-Fiテザリングを設定］について

- お買い上げ時は、ネットワーク名は［SH-L02_AP］、セキュリティは［WPA2 PSK］、パスワードはランダムな値が設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

メールのアカウントの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［CosmoSia］

- アカウントが設定されていない場合のみ、アカウント設定画面が表示されます。

2 サービスを選ぶ

- いくつかのメールアカウントについてプロバイダ情報がプリセットされており、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定が自動で行われます。
- プロバイダ情報がプリセットされていないアカウントの場合は、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定を手動で行う必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

Googleなどのアカウントの設定

- Googleアカウントを設定すると、GmailやGoogle Play™などのGoogleサービスがご利用になれます。

例：Googleアカウントを設定するとき

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［アカウント］▶［アカウントを追加］

2 ［Google］

3 ［または新しいアカウントを作成］

- すでにGoogleアカウントをお持ちの場合は、メールアドレスまたは電話番号を入力してください。

4 姓、名を入力▶［次へ］

5 生年月日と性別を入力▶［次へ］

6 ユーザー名を入力▶［次へ］

7 パスワードを入力▶［次へ］

8 再設定用の電話番号を確認▶［次へ］▶［確認］

9 内容を確認▶［同意する］

10 ［次へ］▶［次へ］

- ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［アカウント］で表示されるメニューに、追加したアカウントが表示されます。

- アカウントが必要となるアプリを起動したときにアカウントが未設定の場合は、アカウント設定画面が表示されます。
- 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

■アカウントの削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[アカウント]

2 アカウントを選ぶ▶[⋮]▶[アカウントを削除]▶[アカウントを削除]

- アカウントにより操作方法が異なります。

■Googleアカウントのパスワードの再取得

Googleアカウントのパスワードをお忘れになった場合は、パスワードを再取得してください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[Chrome]

2 URL入力欄に「https://www.google.co.jp」を入力▶[実行]▶[ログイン]

3 メールアドレスを入力▶[次へ]▶[パスワードをお忘れの場合]▶画面の指示に従って操作

- 利用状況により操作方法が異なります。

■データの同期

端末とオンラインサービスとの間でデータを同期させることができます。データを同期させると、端末やパソコンからオンラインサービス上の同じ個人情報にアクセスし、データを利用・更新することができます。

自動同期するとき

各アカウントで設定された項目を自動的に同期するか設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[アカウント]

- 同期する項目の設定：アカウントの種類を選ぶ▶アカウントを選ぶ▶項目を選ぶ

2 [⋮]▶[データの自動同期]▶[OK]

- 本体メモリの電話帳とオンラインサービス上の連絡先を同期する場合、Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。

手動同期するとき

- データの自動同期が無効のときは、選択した項目を手動で同期できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[アカウント]

2 アカウントの種類を選ぶ▶アカウントを選ぶ

3 同期する項目を選ぶ

電話帳のインポート／エクスポート

■microSDカードからのインポート

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [⋮]▶[設定・管理]▶[ストレージからインポート]

3 暗証番号を入力▶[OK]

4 インポートする電話帳データを選ぶ

5 [一括登録]／[選択登録]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

■microSDカードへのエクスポート

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [⋮]▶[設定・管理]▶[ストレージへエクスポート]

3 暗証番号を入力▶[OK]

4 [保存する(無画像)]／[保存する(画像付)]

- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

着信／充電ランプ

不在着信がある場合や充電中などに着信／充電ランプを点灯／点滅してお知らせします。

表示状態	色	端末の状態
点灯	赤色	充電中(電池残量約94%以下)
点灯	緑色	充電中(電池残量約95%以上)
点滅	赤色	充電ができない状態
点滅	白色	不在着信／新着メールあり

- 点滅するタイミングや光りかた、着信時の点滅パターン／カラーの設定については☞P.52「ヒカリエモーション」

- ディスプレイが表示されている場合、不在着信や新着メールをお知らせする着信ランプが点滅しません。お知らせアイコンで確認してください。お知らせアイコンが表示されないアプリを使用しているときはステータスバーが表示される画面で確認してください。

画面表示／アイコン

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や不在着信の有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。

アイコンの見かた

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
  - ■お知らせアイコン：不在着信や新着メールなどをお知らせします。
  - ■ステータスアイコン：電池残量や電波状態など端末の状態を表します。

■主なお知らせアイコン一覧

：不在着信あり(☞P.35「発着信履歴」)
：新着メッセージあり(☞P.38「CosmoSia」)
：新着Gmailあり(☞P.38「Gmail」)
：エラー表示 ●何らかのエラーが発生したときに表示されます。
：データ通信が無効(☞P.57「データ使用量」) ●データ使用量が上限に達した場合に表示されます。
：アラーム情報あり(☞P.47「アラーム」)
：カレンダーのスケジュール通知あり
電話表示(☞P.33「電話」) ：発信中／着信中／通話中 ：保留中
：伝言メモ情報あり

:microSDカード表示(☞P.56「ストレージ」)

:本体メモリの空き容量低下(☞P.56「ストレージ」)

Bluetooth表示(☞P.67「Bluetooth機能」)
:Bluetooth機器からの登録要求／接続要求あり
:データ受信要求あり
:DUN接続要求あり／DUN接続中

データ送受信表示
:送信表示
:受信表示

アプリ表示
:アップデートあり
:アプリのインストール完了

:オープンネットワークあり(☞P.23「Wi-Fiの設定」)

テザリング表示(☞P.24「テザリング」)
:[USBテザリング]が有効
:[Wi-Fiテザリング]が有効
:[Bluetoothテザリング]が有効
:複数のテザリングが有効

:Bright Keepが[ON(通知あり)]のとき(☞P.54「モーションでON／OFF」)

:VPN接続(☞P.71「VPNの追加」)

:システムアップデートあり(☞P.74「システムアップデート」)

:Smart Lock表示(☞P.58「ロックとセキュリティ」)

:[リラックスオート]が動作中(☞P.52「リラックス設定」)

:表示されていないお知らせアイコンあり

■ 主なステータスアイコン一覧

:アラーム設定中(☞P.47「アラーム」)
- マナーモードを[サイレント]に設定中はアイコンの色が薄くなります。

電池残量表示(☞P.55「省エネ＆バッテリー」)
～ :約100%～約6%
:約5%以下
- 充電中は電池マークに[ ]が重なって表示されます。
- 電池マークの左に電池残量がパーセントで表示されます。バーセントの表示／非表示は[電池残量%表示]で切り替えられます(☞P.52「ディスプレイ」)。

電波の強さ(受信電界)
～ :レベル表示
:圏外
- ネットワークを示すアイコンが左上に表示されます。
:LTE／WiMAX 2+使用可能※
- 通信中は[ ]が重なって表示されます。

:nanoSIMカードが未挿入(☞P.15「nanoSIMカード」)

:機内モード中(☞P.57「もっと見る」)

:NFC／おサイフケータイ ロック中(☞P.42「NFC／おサイフケータイ ロック」)

:[Reader／Writer, P2P]が有効(☞P.42「NFC／おサイフケータイ 設定」)

文字入力モード表示(☞P.20「文字入力」)
:ひらがな漢字
:半角英字
:半角数字
:全角英字
:全角数字
:区点コード

マナーモード表示(☞P.27「マナーモード」)
:通常マナー
:サイレント
:アラームのみ
:優先する通知のみ

通話中表示(☞P.34「通話中の操作」)
:ハンズフリー通話中
:消音に設定中

Wi-Fi電波状態表示(☞P.23「Wi-Fiの設定」)
:レベル4
:レベル3
:レベル2
:レベル1
:レベル0
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続中は、[ ]のようにWi-Fi電波状態表示に[ ]が重なって表示されます。

Bluetooth表示(☞P.67「Bluetooth機能」)
:待機中
:接続中

:位置情報をGPSで測位中(☞P.58「位置情報」)

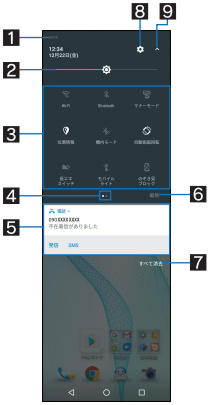
伝言メモ表示
:伝言メモ設定中で伝言メモが0件
:伝言メモ設定中で伝言メモが1～9件
:伝言メモ設定中で伝言メモが10件

※「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

ステータスパネルの利用

1 ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグ

2 ステータスパネルを利用する



1 通信事業者名
- 接続している通信事業者名が表示されます。

2 明るさ調整バー
- ドラッグすると画面の明るさを調整できます。

3 機能ボタン
- マナーモード、Wi-Fi機能、位置情報の使用などについて設定できます。
  - ・[位置情報]をタッチすると、位置情報の利用についての確認画面が表示されます。[同意しない]／[同意する]によって、設定されるモードが異なります(☞P.58「位置情報」)。モードが[高精度]／[端末のみ]の場合は[ ]が、[バッテリー節約]の場合は[ ]が表示されます。
- 表示エリアを左右にフリックするとページを切り替えられます。

4 インジケータ
- 機能ボタン表示エリアのページ枚数と現在の表示位置を表します。

5 通知詳細情報
- 端末の状態やお知らせの内容を確認できます。
- 詳細情報の種類によっては、次の操作ができます。
  - ・対応するアプリの起動や操作:詳細情報や機能をタッチ
  - ・詳細表示／簡易表示の切替:詳細情報を2本の指で同時に上下にスライド、またはピンチアウト／ピンチイン
  - ・詳細情報の消去:詳細情報を左右にフリック
  - ・アプリの通知について設定:詳細情報をロングタッチ▶画面の指示に従って操作

6 編集
- 機能ボタンの並べ替えや追加、削除ができます。

7 すべて消去
- 通知詳細情報とお知らせアイコンを消去します。通知詳細情報の内容によっては消去されない場合があります。

8 設定
- 「設定」アプリを起動します。

9 機能ボタン表示エリアの拡大／縮小
- 機能ボタンなどの表示エリアを拡大／縮小します。
- 画面を上下にスライドしても拡大／縮小できます。

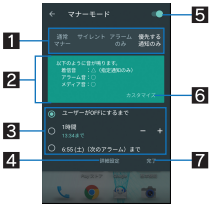
- 不在着信の通知が1件ある場合、通知詳細情報を詳細表示にすると[発信]、[SMS]が表示されます。タッチして電話をかけたりSMSを送信したりできます。
- アプリによっては、メッセージを受信した際に、ステータスパネルで返信操作を行えるものがあります。通知詳細情報を詳細表示にし、画面の指示に従って操作してください。

■ マナーモード

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

1 ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグ

2 [マナーモード]
- マナーモードの設定画面が表示されます。表示される項目は、選択するマナーモードによって異なります。



1 マナーモードの種類
- 設定するマナーモードを選択します。
  - ■ 通常マナー:着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。アラーム音、メディア音はそれぞれの設定に従って鳴動します。
  - ■ サイレント:着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。アラーム音、メディア音も鳴りません。
  - ■ アラームのみ:着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。アラーム音、メディア音は鳴ります。
  - ■ 優先する通知のみ:詳細設定の[優先する通知のみを許可]の設定に従って、着信音やお知らせ音が鳴ります。その他の動作については、マナーモードを設定していないときと同様です。

2 動作説明
- 選択しているマナーモードを設定した場合の動作について表示されます。

3 解除までの期間
- マナーモードが解除されるまでの期間を設定します。時間や次のアラームまでを選択すると、一定時間経過後や次回のアラーム鳴動時に、マナーモードが自動で解除されます。
- [−]／[+]をタッチすると、マナーモードが解除されるまでの時間を設定できます。

4 詳細設定
- 優先する通知や、特定の時間帯などの通知動作について設定します。
  - ■ 優先する通知のみを許可※:マナーモードを[優先する通知のみ]に設定した場合、本設定に従って着信音やお知らせ音を鳴らします。
  - ■ 自動ルール:特定の時間帯や予定期間の通知動作について設定します。
  - ■ 視覚的な通知のブロック:画面が点灯／消灯しているときの通知動作について設定します。
  - ※ アラームは常に優先する通知となり、設定の変更はできません。
- タッチすると選択中のマナーモードが設定されます。

5 マナーモード設定
- マナーモードの設定状態が表示されます。タッチするとマナーモードを解除します。

6 カスタマイズ
- 詳細設定の[優先する通知のみを許可]を設定します。
- タッチすると選択中のマナーモードが設定されます。

7 完了
- マナーモードを設定します。

- マナーモードを設定すると、機能ボタンの表示が変更されます。タッチするとマナーモードが解除されます。

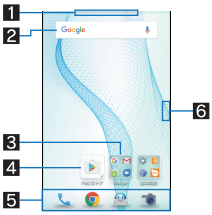
- マナーモード設定中も、次の音は鳴ります。
  - ■ 静止画撮影時のシャッター音
  - ■ 静止画撮影時のフォーカスロック音
  - ■ 動画撮影時の開始音／停止音
- 伝言メモ設定が[マナーモード連動]に設定されている場合、マナーモードが設定されているときは伝言メモが有効になり、伝言メモの設定に従って動作します。
- 通常マナー設定中に着信音量を上げると、マナーモードは解除されます。マナーモードを設定していないときに着信音量を「0」にすると、通常マナーが設定されます。
- 通常マナーを設定中に(+)／(−)を押して音量バーを表示させ、(−)を押すとサイレントに設定されます。
- サイレント、アラームのみを設定中に(+)／(−)を押して音量バーを表示させ、(+)を押すと通常マナーに設定されます。

ホーム画面

ホーム画面の見かた

目的のアプリがすぐに見つかる直感的なホームアプリです。左右にフリックするだけでデスクトップシートやアプリシートから使いかたに合ったシートを選んで利用できます。

- 新しいアプリをインストールすると、アプリアイコンとショートカットが追加されます。
- アプリをアンインストールすると、ホーム画面からアイコンが削除されます。



デスクトップシート

アプリシート

1 ガイドタブ
- 表示中のシートを示します。シートを切り替えたときはシート名が表示されます。

2 ウィジェット
- カレンダーや歩数計など、簡単な機能を利用できます。

3 フォルダ
- アプリ／ショートカットを格納できます。

4 ショートカット
- よく使うアプリをすばやく起動できます。

5 ドック
- ホーム画面のどのページからもすばやくアプリを起動できます。

6 インジケータ
- タッチしたページに移動できます。表示しているページを[○]で表します。

7 アプリ

ホーム画面の管理

■ ホーム画面の設定

1 ホーム画面でデスクトップシート／アプリシートをロングタッチ▶[ホーム設定]

2 項目を選ぶ

- ■ ドック表示設定：ドックを表示するか設定します。
- ■ ガイドタブ表示設定：ガイドタブを表示するか設定します。
- ■ ホームポジション設定：ホーム画面で[◉]をタッチしたときに表示するシートを設定します。
- ■ レイアウト設定：表示レイアウトを設定します。
- ■ テーマ設定：ホーム画面のテーマや壁紙を設定します。

[レイアウト設定]について

- [Simple]に設定すると、アプリシートのみ表示され、アイコンと文字が大きくなります。

■ ショートカット／ウィジェットの貼付

1 ホーム画面でデスクトップシートをロングタッチ▶[ショートカットを貼付け]／[ウィジェットを貼付け]

2 ショートカット／ウィジェットを選ぶ

■ フォルダの作成

1 ホーム画面でデスクトップシート／アプリシートをロングタッチ▶[フォルダ作成]

2 アプリ／ショートカットをフォルダまでドラッグ

■ アプリ／ウィジェット／ショートカット／フォルダの移動

1 ホーム画面でアプリ／ウィジェット／ショートカット／フォルダをロングタッチ

2 移動先までドラッグ

- [+]までドラッグすると、新しいページを追加できます。
- アプリを[🗑]までドラッグするとアンインストールできます。ウィジェット／ショートカット／フォルダを[🗑]までドラッグすると削除できます。
- ドックに配置されたショートカット／フォルダも同様の操作で移動できます。また、アプリ／ショートカット／フォルダをドックにドラッグすると、ショートカット／フォルダが配置されます。

■アプリ／ウィジェット／ショートカット／フォルダの管理

1 ホーム画面でアプリ／ウィジェット／ショートカット／フォルダをロングタッチ

2 項目を選ぶ

- ショートカットを貼付け：アプリのショートカットをデスクトップシートに貼り付けます。
- アプリを削除：アプリをアンインストールします。
- アプリ非表示：アプリをアプリシートに表示しないようにします。
  - ・ホーム画面でアプリシートをロングタッチ▶［アプリ表示設定］から、各アプリの表示／非表示を設定できます。
- 新規フォルダに入れる：アプリ／ショートカットを格納したフォルダを作成します。
- はがす：ウィジェット／ショートカット／フォルダを削除します。
- サイズ変更：ウィジェットのサイズを変更します。
- ホーム設定：ホーム画面について設定します。ホーム設定については☞P.28「ホーム画面の設定」

［はがす］について

- ショートカットを削除しても、アプリはアンインストールされません。

■フォルダ名の変更

1 ホーム画面でフォルダを選ぶ

2 フォルダ名をタッチ

3 フォルダ名を入力

■ページの並べ替え

1 ホーム画面でデスクトップシート／アプリシートをロングタッチ▶［ページ並替え］

- ホーム画面でピンチインしてもページを並べ替えられます。

2 上下にスライドして移動先を選ぶ▶［移動する］

アプリ一覧

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。
- インストールされているアプリは次のとおりです。その他、ご契約の通信事業者専用のアプリがインストールされています。

アイコン	アプリ	概要
	アラーム・時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用します（☞P.47「アラーム・時計」）。
	アルバム	画像や動画をイベントや場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます（☞P.45「アルバム」）。
	おサイフケータイ	おサイフケータイを利用できます（☞P.41「「おサイフケータイ対応サービス」の利用」）。
	音声検索	音声検索を利用してサイトの情報を検索します（☞P.19「端末内やサイトの情報の検索」）。
	からだメイト	歩数や体重などを記録することができます。歩数や体重の履歴をグラフで表示して、日別／月別で比較することもできます（☞P.49「からだメイト」）。
	カレンダー	スケジュールを管理します（☞P.48「カレンダー」）。
	コンテンツマネージャー	本体メモリまたはmicroSDカードに保存されたデータを管理します（☞P.65「コンテンツマネージャー」）。
	設定	端末の各種設定をします（☞P.51「設定メニュー」）。
	体験しよう！	本製品に搭載しているおすすめの説明を見たり、試したり、設定を変更したりできます。
	ダウンロード	サイトからダウンロードした画像などのデータを管理することができます。
	電子書籍GALAPAGOS	新聞や雑誌、書籍などの電子書籍を購入、閲覧できます。
	電卓	電卓を利用します（☞P.49「電卓」）。
	電話	電話を利用します（☞P.33「電話」）。
	電話帳	電話帳を利用します（☞P.35「電話帳」）。
	ドライブ	画像や動画などをGoogle ドライブ™に保存したり、共有したりすることができます。
	フォト	画像や動画を管理します。
	マップ	現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます（☞P.46「マップ」）。

アイコン	アプリ	概要
	メッセージ	SMSを利用します。
	Chrome	パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示します(☞P.39「Chrome」)。
	Clip Now	Clip Nowで撮影した画像(保存用スクリーンショット)やURLを確認します(☞P.53「Clip Now」)。
	CosmoSia	CosmoSiaを利用します(☞P.38「CosmoSia」)。
	Duo	ビデオ通話を利用します。
	Gmail	Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます(☞P.38「Gmail」)。
	Google	クイック検索ボックスを利用します(☞P.19「端末内やサイトの情報の検索」)。
	OfficeSuite※	OfficeSuiteを利用します。 ● 対応しているファイルについては、ホーム画面にアプリシートを表示▶[OfficeSuite]▶[☰]▶[ヘルプとフィードバック]▶[ヘルプ]と操作して、ヘルプを参照してください。
	PCメール	メールを利用します。
	Play ストア	Google Playを利用します(☞P.41「Play ストア」)。
	Playムービー&TV	映画をレンタルしたり、視聴したりすることができます。
	Play Music	音楽を再生します。
	SHカメラ	SHカメラで撮影します(☞P.43「SHカメラ」)。
	SHSHOW	AQUOSスマートフォン/タブレットを使いこなすための各種情報やコンテンツを紹介するアプリです。
	YouTube	YouTubeを利用します(☞P.47「YouTube」)。

※はじめてご利用される際にはアプリをダウンロードする必要があります。アプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

● インストールされているアプリの中には、アンインストールできるものもあります。アンインストールしたアプリはPlay ストア(☞P.41「Play ストア」)などから再度ダウンロードできる場合があります。

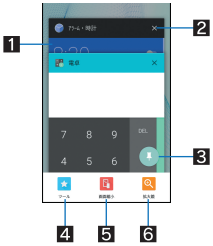
アプリ使用履歴

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。また、どこでもコピー、「書」メモなどのアプリや画面縮小モード、拡大鏡などを利用することもできます。

1 [▣]

2 履歴を利用する

- [▣]をタッチすると、1つ前に使用していたアプリが起動します。



1 アプリの使用履歴
- タッチするとアプリを起動できます。
- 左右にフリックすると履歴を削除できます。
- 画面右上の[すべて消去]をタッチすると、アプリの使用履歴をすべて削除できます。
  - ・アプリの使用履歴が複数ある場合、履歴を下にフリックすると、[すべて消去]が表示されます。

2 履歴消去
- タッチするとアプリの使用履歴を削除できます。

3 画面の固定
- [画面の固定]がONの場合、最新の履歴に表示されます。画面の固定については☞P.58「ロックとセキュリティ」
- タッチすると選択したアプリ以外を使用できないようになります。
  - ・画面の固定を解除:[◁]をロングタッチ

4 ツール
- 次の機能を利用できます。
  - ■どこでもコピー:表示中の画面の文字をコピーすることができます。
  - ■「書」メモ:表示中の画面に手書きでメモを書き込んで、画像として保存することができます。
  - ■チャイルドロック:チャイルドロックを設定すると、タッチ操作やナビゲーションキーでの操作を無効にすることができます。[⏻]を押すか、ディスプレイの表示が消えるとチャイルドロックが解除されます。

5 画面縮小
- タッチすると画面を縮小し、片手でも操作しやすくします。
- 縮小表示中に[⚙]をタッチすると、縮小した画面を移動したりサイズを変更したりできます。
- [▣]▶[元に戻す]と操作して、画面のサイズを元に戻すことができます。

6 拡大鏡
- タッチすると画面の一部が拡大表示されます。拡大鏡を起動したまま端末を操作し、拡大したい部分まで拡大エリアをドラッグしてください。
- 拡大エリアをタッチするか、再度[▣]▶[拡大鏡]と操作すると、拡大鏡を終了します。
- 拡大鏡の拡大エリアで項目などを選択することもできますが、選択すると拡大鏡は終了します。

- アプリによっては履歴に表示されない場合があります。
- 起動中のアプリの履歴を消去すると、アプリを終了することができます。

画面縮小について

- 表示中の画面によっては、縮小することができない場合があります。
- 画面縮小モード中に横表示にしたり、ディスプレイの表示が消えたりすると、画面縮小モードは解除されます。

拡大鏡について

- アプリによっては拡大鏡を使用できない場合があります。

マルチウィンドウ

上下に分割された画面で、2つのアプリを同時に利用することができます。

1 アプリ利用中に[▣]をロングタッチ

- 画面が上下に分割され、[▣]の表示が[⊟]に変わります。利用中のアプリが上側に配置され、下側にはアプリ使用履歴が表示されます。
  アプリ使用履歴やホーム画面からアプリを起動すると、マルチウィンドウの下側に配置され、上側のアプリと同時に利用することができます。

1 セパレータ
- 上／下にフリックすると、下側／上側のアプリが全画面になります。マルチウィンドウは終了します。
- 表示サイズ(☞P.52「ディスプレイ」)を[小]に設定している場合は、上／下にドラッグして上下の画面サイズを変更することができます。

2 マルチウィンドウキー
- マルチウィンドウ利用中であることを表します。操作方法は[▣]と同様です。
- マルチウィンドウでロングタッチすると、マルチウィンドウが終了します。表示は[▣]に戻ります。

- ご使用のアプリによっては、マルチウィンドウで利用できない場合があります。

ホーム切替

ホームアプリを切り替えます。

- お買い上げ時は、端末に次のホームアプリが登録されています。
  - Feel Home
    目的のアプリがすぐに見つかる直感的なホームアプリです。左右にフリックするだけでデスクトップシートやアプリシートから使いかたに合ったシートを選んで利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ホーム切替]

2 ホームを選ぶ

アプリ初回起動時の確認画面について

それぞれのアプリをはじめて起動したときは、「アプリに必要な許可」「電池の最適化」の確認画面が表示され、アプリの動作について設定を行います。

- アプリによって、表示される確認画面の種類や内容は異なります。ここでは、「アプリに必要な許可」「電池の最適化」の2種類の確認画面について説明します。
- アプリによっては、特定の機能をはじめて利用するときに確認画面が表示される場合があります。

アプリに必要な許可

アプリが端末のデータやカメラなどを利用することを許可します。

- 機能の利用を許可しなかった場合、アプリが正常に動作しないことがあります。

例：アルバムを起動したとき

1 「アプリに必要な許可」の確認画面で[次へ]

2 [許可しない]／[許可]

- 通常は[許可]を選択し、機能の利用を許可してください。
- 利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■ 利用する機能について設定

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

アプリごとに利用する機能を設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[アプリ]

2 アプリを選ぶ▶[権限]

3 機能を選ぶ

機能ごとに利用を許可するアプリを設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[アプリ]▶[⚙]▶[アプリの権限]

2 機能を選ぶ

3 アプリを選ぶ

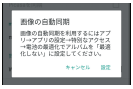
電池の最適化

電池の最適化を行うと、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。

- 電池の最適化を行った場合、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しません。アプリ／機能が利用できないなど、意図しない現象が発生することがあります。

例：アルバムで「画像の自動同期」を設定するとき

1 電池の最適化についての確認画面で[設定]



2 [⚙]▶[特別なアクセス]▶[電池の最適化]

3 [最適化していないアプリ]▶[すべてのアプリ]

4 [アルバム]▶[最適化する]／[最適化しない]▶[完了]

- 通常は[最適化しない]を選択してください。
- アプリによっては、起動時に表示される確認画面で最適化を無視するかを設定します。最適化を行うとアプリが終了する場合があります。

■ 電池の最適化の設定

電池の最適化について、次の手順で設定することもできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[アプリ]▶[⚙]▶[特別なアクセス]▶[電池の最適化]

- ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[省エネ＆バッテリー]▶[電池]▶[⋮]▶[電池の最適化]でも電池の最適化を行うことができます。
- 最適化していないアプリの一覧が表示されます。

2 [最適化していないアプリ]▶[すべてのアプリ]

3 アプリを選ぶ▶[最適化する]／[最適化しない]▶[完了]

電話

電話や電話帳を利用したり、通話や着信時の動作などについて設定できます。

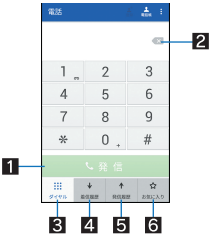
電話をかける

● 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［電話］▶［ダイヤル］

2 電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」/「184」を付けると、その発信に限り番号通知／番号非通知に設定して発信できます。



1 発信
- 電話を発信します。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のときにタッチすると最新の発信履歴が入力されます。

2 削除
- 入力した番号を１文字削除します。
- ロングタッチすると、入力した番号をすべて削除します。

3 ダイヤル
- ダイヤル画面を表示します。

4 着信履歴

5 発信履歴

6 お気に入り
- お気に入りに設定されている連絡先を表示します。

3 ［発信］

4 通話が終わったら［通話終了］

- 髪の毛の上から受話口を当てて通話すると、近接センサーが正常に動作しないことがあります。画面が点灯したままとなり、誤って画面に触れることによって、通話が切れる場合があります。

VoLTEについて

- VoLTEは、通話を高品質で利用することができます。
- VoLTEのご利用には、本端末と通話相手の端末が以下の条件を満たす必要があります。
  - ■ VoLTE対応機種であること
  - ■ ご契約の通信事業者がVoLTEに対応していること
  - ■ VoLTE対応サービスエリア内であること※

  ※ VoLTE対応サービスエリア外は、VoLTEを利用できません。

プッシュ信号の入力

電話番号に続いて停止(P)を入力すると、銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に２秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［電話］▶［ダイヤル］

2 電話番号を入力▶［⋮］▶［特番付加］▶［P付加］

3 送信する番号を入力▶［発信］

緊急通報

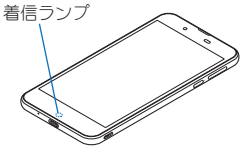
緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定にかかわらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内では通話可能なnanoSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

電話を受ける

● 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する



2 電話を受ける

• 各アイコンを下にドラッグしてください。

1 応答
● 電話を受けることができます。

2 着信拒否
● 着信を拒否することができます。

3 クイック返信
● 着信を拒否し、選択したメッセージをSMSとして相手に送信することができます。

4 メニュー
● 利用できる機能(メニュー)を表示します。

3 通話が終わったら[通話終了]

■ ディスプレイを表示中に電話を受ける

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中に電話がかかってくると、着信通知が表示されます。通知を利用して電話を受けることができます。

1 電話がかかってくると、画面上部に着信通知が表示される

2 [応答]

• 着信通知をタッチすると、着信画面を表示できます。各アイコンをタッチしてください。

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。

1 相手の名前や電話番号

2 消音
● 通話中の電話を消音／消音解除にします。

3 音量
● 通話音量を調整します。

4 音声メモ
● 通話中の相手の音声と自分の音声を録音します。

5 保留
● 応答を保留にすることができます。

6 数字キー
● プッシュ信号の入力ができます。

7 メニュー
●「電話帳参照」や「通話を追加」など利用できる機能(メニュー)を表示します。

8 スピーカー
● ハンズフリーで通話ができます。

9 通話終了
● 通話を終了します。

● ハンズフリーで通話するには次の内容にご注意ください。
・送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
・屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
・ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。
● イヤホンマイク／Bluetooth機器を接続している場合、スピーカーを利用できません。
●「保留」と「通話を追加」をお使いになる場合、あらかじめご利用の通信事業者との契約が必要となります。詳しくは、通信事業者にお問い合わせください。
なお、通信事業者によっては、これらの機能を提供していない場合もあります。

■ 通話音量調節

1 通話中に▯(+)／▯(−)

発着信履歴

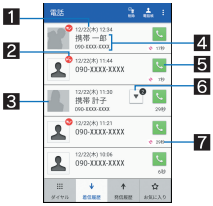
● 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話]▶[着信履歴]／[発信履歴]

2 履歴を選ぶ

- 履歴を選択すると、着信の状態などの詳細が表示されます。

例：着信履歴のとき



1 着信日時
- 発信履歴では、発信日時が表示されます。

2 着信状態アイコン
- 不在着信がある場合は、[ ]で表示されます。

3 電話帳に登録している顔写真

4 相手の名前／電話番号

5 発信アイコン
- タッチすると発信します。

6 グループ数
- 同じ相手の発着信履歴が連続した場合に表示されます。
- タッチすると、グループ内の履歴の表示／非表示を切り替えられます。

7 不在着信時間

3 [発信]

- SMSの作成・送信：[SMS]▶SMSを作成・送信
- 電話帳に登録：[登録]▶登録先を選ぶ▶各項目を設定▶[保存]▶[はい]

発着信履歴の削除

■ 全件削除

1 発着信履歴一覧画面で[ ]▶[全件削除]▶[はい]

■ 1件削除

1 発着信履歴一覧画面で履歴を選ぶ▶[削除]▶[はい]

通話設定

音声・伝言メモや着信拒否など、通話について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話]

2 [ ]▶[設定]

- ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[通話]でも通話設定を行うことができます。

3 項目を選ぶ

■ 発信者番号通知：電話をかけるときに、相手の電話機に自分の電話番号を表示させることができます。
■ 音声・伝言メモ：伝言メモや音声メモについて設定します。
■ 国際発信設定：国際電話をかける場合に利用する国番号のリストを表示します。
■ 着信転送・お留守番サービス：着信転送サービス、お留守番サービスについて設定します。
■ ガイド言語設定：ガイダンスの言語を切り替えます。
■ 割込通話設定：割込通話サービスについて設定します。
■ 着信拒否：着信拒否について設定します。
■ クイック返信：クイック返信に使用する文章を編集します。

電話帳

連絡先の管理やプロフィールの確認を行うことができます。

電話帳の登録

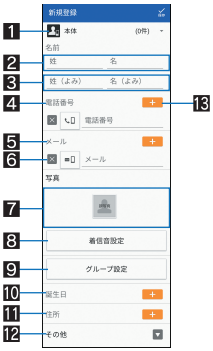
1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [ ]▶[新規登録]

- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

3 各項目を設定

- 登録できる情報はアカウントの種類によって異なります。



1 アカウント
- 登録するアカウントを設定します。

2 姓、名

3 姓のふりがな、名のふりがな

4 電話番号

5 メールアドレス

6 削除
- 電話番号／メールアドレスなどを削除します。

7 画像
- 発着信時や連絡先確認時に表示する画像を登録します。

8 着信音設定
- 着信音を設定します。

9 グループ設定

10 誕生日
11 住所
12 その他
- ニックネームや所属などの情報を登録します。

13 追加
- 登録する電話番号／メールアドレスなどを追加します。

4 [保存]▶[はい]

電話帳の確認／利用

登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 名前を選ぶ

1 検索
2 画像
3 インデックスタブ
- タッチした見出しの連絡先を表示します。

4 連絡先
5 お気に入り
- お気に入りに設定されている連絡先を表示します。

6 電話
- 「電話」アプリを起動します。

3 登録情報を確認／利用する

1 登録内容
- 登録内容を確認／利用できます。
- 表示されているアイコンをタッチすると、登録内容を利用して電話やメールなどをすることができます。

2 画像
3 お気に入り登録
4 編集

■表示するアカウントを選択

- アカウントを設定している場合に利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [⋮]▶[設定･管理]▶[表示するアカウント]

3 項目を選ぶ

■電話帳の送信

電話帳データを別の端末に送信したり、メールに添付したりできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [⋮]▶[送信]

3 操作を選ぶ
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

電話帳の削除

■全件削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [⋮]▶[削除]▶[全選択]▶[削除]▶[はい]

3 暗証番号を入力▶[OK]

■1件削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 名前を選ぶ▶[⋮]▶[削除]▶[はい]

電話帳の編集

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 名前を選ぶ▶[編集]

3 各項目を設定▶[保存]▶[はい]
- 設定できる各項目の詳細については☞P.35「電話帳の登録」

グループの利用

表示方法をグループにすると、グループごとに連絡先を表示することができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [⋮]▶[表示方法切替]▶[グループ]

3 グループを利用する

1 連絡先の検索
2 アカウント
- タッチするとグループ名を表示できます。

3 グループ名
- タッチするとグループに登録されている連絡先が表示されます。

4 お気に入り
- お気に入りに設定されている連絡先を表示します。

5 電話
- 「電話」アプリを起動します。

■ グループの追加／編集

1 グループ一覧画面で[⋮]▶[グループ追加・編集]

- アカウントが複数ある場合は追加／編集するアカウントの選択画面が表示されます。

2 [追加]▶各項目を設定▶[保存]

- グループの削除：[削除]▶グループを選ぶ▶[削除]▶[はい]
- グループの並べ替え：[並べ替え]▶グループをロングタッチ▶移動先までドラッグ▶[完了]

■ グループへの登録／解除

1 グループ一覧画面でグループをロングタッチ▶[メンバー登録]

2 連絡先を選ぶ▶[登録]▶[はい]

- 連絡先の選択を解除すると、登録を解除できます。

プロフィール

nanoSIMカードをご使用の場合は、お客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [⋮]▶[プロフィール]

■ プロフィールの送信

お客様のプロフィールを別の端末に送信したり、メールに添付したりできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [⋮]▶[プロフィール]

3 [⋮]▶[送信]

4 操作を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ プロフィールの編集

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [⋮]▶[プロフィール]▶[編集]

3 各項目を設定▶[保存]▶[はい]

メール／ウェブブラウザ

CosmoSiaやGmailなどを利用して、メッセージを送受信したり、Chromeを利用してサイトを表示したりできます。

CosmoSia

SMSやメールの送受信ができます。

- あらかじめ、アカウント設定をしておいてください（☞P.24「メールのアカウントの設定」）。

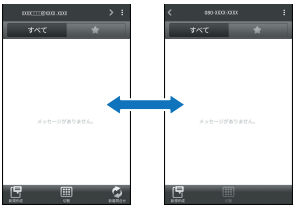
1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［CosmoSia］

- 使用許諾契約についての確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。
- メールの送受信方法などはアプリのヘルプを参照してください。

- ホーム画面にアプリシートを表示▶［CosmoSia］▶サービス選択画面で［SMS］▶［はい］と操作すると、デフォルトのSMSアプリをCosmoSiaに切り替えることができます。

■ メール／SMSの切り替えかた

CosmoSia画面を左右にスライド／フリックすることで、メール画面／SMS画面を切り替えることができます。



メール画面　SMS画面

Gmail

Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- GoogleアカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶［Gmail］

2 ［✎］

3 メールを作成

1 アカウント
- 複数のアカウントを設定している場合、アカウントを切り替えられます。

2 宛先
- ［連絡先の提案を許可］をタッチして電話帳の利用を許可すると、電話帳に登録してあるメールアドレスや名前の一部を入力したときに、宛先の候補が表示されます。

3 件名

4 本文

5 宛先の追加
- タッチすると、CcやBccを追加できます。

6 ファイル添付

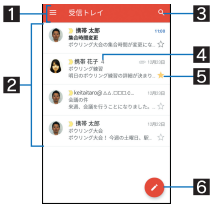
4 ［➢］

メールの表示

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶［Gmail］

2 スレッドを選ぶ

- Gmailでは、返信ごとにメールをスレッドにまとめて表示します。新着メールが既存のメールへの返信メールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。新規のメールや件名を変更したメールについては、新しいスレッドが作成されます。



1 表示中のトレイ名／ラベル名
- ［☰］をタッチすると表示種別／アカウントの切り替えや設定ができます。

2 スレッド
- スレッド内がすべて既読メールのときは、送信元や件名が細字の表示になります。
- 画像をタッチするとスレッドにチェックが付き、一括でアーカイブ／削除／未読／既読などに設定できます。

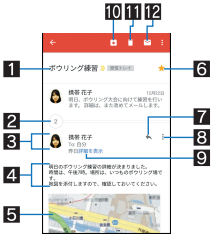
3 メール検索

4 スレッド内のメール件数

5 スターアイコン
- 特別なスレッドやあとで対応する必要があるスレッドの目印として利用できます。
- スターを付けたスレッドは、スター付きフォルダで確認することができます。

6 メール新規作成

3 メールを確認する



1 件名

2 まとめられたメール
- タッチするとまとめられたメールを表示します。

3 送信元／宛先
- 画像をタッチすると利用できる機能が表示されます。利用できる機能は、電話帳の登録内容によって異なります。
- 送信元をタッチすると詳細表示／簡易表示を切り替えられます。

4 本文

5 添付ファイル

6 スターアイコン
- 特別なスレッドやあとで対応する必要があるスレッドの目印として利用できます。
- スターを付けたスレッドは、スター付きフォルダで確認することができます。

7 返信

8 各メールのメニュー
- タッチするとメールごとに全員に返信や転送、スターを付ける／スターを外す、印刷、送信元からのメールのブロック／ブロック解除をすることができます。

9 受信日時
- タッチすると、送信元や宛先、受信日時の詳細の表示／非表示を切り替えられます。

10 アーカイブ

11 削除

12 未読にする

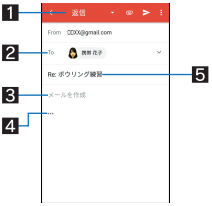
メールの返信／転送

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶［Gmail］

2 スレッドを選ぶ

3 ［↩］
- 全員に返信：各メールの［⋮］▶［全員に返信］
- 転送：各メールの［⋮］▶［転送］

4 メールを作成



1 返信種別
- タッチすると返信／全員に返信／転送を切り替えられます。

2 宛先

3 本文

4 送信元のメッセージ
- タッチすると送信元のメールを本文に入力します。

5 件名

5 ［▶］

スレッドの削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶［Gmail］
- スレッドの選択削除：スレッドの画像をタッチ▶［🗑］

2 スレッドを選ぶ

3 ［🗑］

Gmailの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶［Gmail］

2 ［☰］▶［設定］

3 項目を選ぶ
- 全般設定：Gmail全般について設定します。
- アカウントを追加：アカウントの追加ができます。
- アカウントを選ぶと、通知や署名など、各アカウントの詳細について設定できます。

Chrome

パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます。

サイトの表示

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［Chrome］

- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

■サイトの検索

1 URL入力欄をタッチ

2 キーワードを入力▶キーワードを選ぶ
- 入力した文字を含むキーワードを一覧表示します。
- キーワードを最後まで入力して［実行］でも検索できます。
- ページの再読み込み：Chrome画面で［⋮］▶［↻］

■新しいタブを開く

1 Chrome画面で［⋮］▶［新しいタブ］

■タブの切替

1 Chrome画面で［2］

2 タブを選ぶ

■タブを閉じる

1 Chrome画面で［2］▶［✕］

■シークレット タブを開く

閲覧履歴や検索履歴を残さずにサイトを表示できます。

1 Chrome画面で［⋮］▶［新しいシークレット タブ］
- シークレット タブで表示中はURL入力欄の周囲が灰色で表示されます。

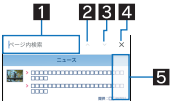
2 URL入力欄をタッチ▶キーワードを入力▶［実行］
- シークレット タブを閉じる：Chrome画面で［1］▶［✕］

- シークレット タブで表示したサイトはChromeの履歴には残りません（☞P.40「履歴からのサイト表示」）。また、シークレット タブをすべて閉じると、Cookieなどの記録も削除されます。なお、ダウンロードしたファイルやブックマークしたサイトは、シークレット タブでも保存できます。

■ ページ内の文字の検索

1 Chrome画面で[⋮]▶[ページ内検索]

2 検索する



1 キーワード入力欄
- 検索するキーワードを入力します。

2 前へ

3 次へ

4 検索終了

5 検索結果バー
- タッチした検索結果に移動できます。

■ 文字のコピー

1 Chrome画面でコピーする文字をロングタッチ

2 始点から終点までドラッグ

- コピー範囲の変更:[●]/[●]をドラッグ

3 [コピー]

■ 便利な機能

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

1 Chrome画面でリンク/画像をロングタッチ▶利用する機能を選ぶ

Chromeの設定

1 Chrome画面で[⋮]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- Chromeにログイン:Googleアカウントでchromeにログインします。同じアカウントでChromeを利用していた際のタブやブックマーク、履歴などの情報を同期できます。
- 検索エンジン:URL入力欄から検索するときに利用する検索エンジンを設定します。
- フォームへの自動入力:自動入力をするときに利用する住所やクレジットカードの情報を設定します。
- パスワードの保存:パスワードの保存について設定します。
- ホームページ:ホームページを設定します。
- プライバシー:利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。
- ユーザー補助機能:文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。
- サイトの設定:サイトの表示についてや、サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定します。
- データセーバー:データ使用量を抑えるようにするか設定します。
- Chromeについて:Chromeの情報を確認できます。

ブックマークや履歴の利用

■ ブックマークの登録

1 Chrome画面で[⋮]▶[☆]

■ ブックマークからのサイト表示

1 Chrome画面で[⋮]▶[ブックマーク]

2 ブックマークを選ぶ

■ 履歴からのサイト表示

1 Chrome画面で[⋮]▶[履歴]

2 履歴を選ぶ

アプリ

Play ストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームを端末にダウンロード、インストールすることができます。

- あらかじめGoogleアカウントを設定しておいてください（☞P.24「Googleなどのアカウントの設定」）。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［Play ストア］

- ヘルプの表示：［≡］▶［ヘルプとフィードバック］

- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する場合があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アプリの購入

1 Google Play画面で購入するアプリを選ぶ

2 価格をタッチ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 無料のアプリのとき：［インストール］
- アプリの初回購入時は、支払い方法を選択してください。支払い方法によっては、Googleウォレット アカウントにログインする必要があります。
- アプリの購入後規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金要求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金要求はできません。アプリ購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Google Play画面で［≡］▶［ヘルプとフィードバック］をご覧ください。

- アプリのインストールに承諾すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリをインストールするときは、特にご注意ください。
- ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとにアンインストールしたアプリの再ダウンロードには料金はかかりません。
- 同じGoogleアカウントを設定しているAndroid™デバイスが複数ある場合、購入したアプリは他のデバイスすべてに無料でダウンロードすることができます。
- Google Playからのアプリの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

■アプリのアンインストール

1 Google Play画面で［≡］▶［マイアプリ＆ゲーム］

2 アンインストールするアプリを選ぶ

3 ［アンインストール］▶［OK］

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使ったり、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる機能です。
電子マネーやポイントなどを本端末のＩＣカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。
※おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。

- 本端末は、PayPass、payWave、J/Speedyの各サービスには対応しておりません。

おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、ＩＣカード内データ※が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ＩＣカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

※おサイフケータイ対応端末に搭載されたＩＣカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」の利用

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトより、おサイフケータイ対応アプリをダウンロードし、設定を行ってください。なお、サービスによってはおサイフケータイ対応アプリのダウンロードが不要なものもあります。

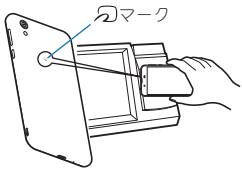
1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［おサイフケータイ］

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選ぶ

- サービスのサイト、またはサービスに対応したアプリをダウンロードしてから設定してください。

3 端末の マークを読み取り機にかざす



- 次の場合は、おサイフケータイ対応サービスを利用できません。ただし、読み取り機に本端末をかざしてのお支払いは利用できます。
  - 機内モード中
  - 充電中、または指定のmicroUSBケーブル接続中、またはイヤホンマイク接続中で、nanoSIMカードが挿入されていない場合／一度も電波を受信していない場合
- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機と通信できます。
- 読み取り機との通信は、電源を切っていても利用できます。ただし、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。
- データセーバー（☞P.57「データ使用量」）の設定にかかわらず、おサイフケータイ対応アプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。
- インストールしているおサイフケータイ対応アプリやアプリの設定によっては、画面ロック設定中や画面消灯中、本端末の電源を切っている状態では、読み取り機にかざして利用できない場合があります。
- 電源を入れたときや再起動したときは、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

対向機にかざす際の注意事項

- 読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことに注意してください。
  - マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
  - マークを対向機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
  - マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響をおよぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

NFC／おサイフケータイ ロック

NFC／おサイフケータイ ロックを設定すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

- NFC／おサイフケータイ ロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロック設定とは異なります。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［もっと見る］▶［NFC／おサイフケータイ 設定］▶［NFC／おサイフケータイ ロック］

- ホーム画面にアプリシートを表示▶［おサイフケータイ］▶［ ］でもNFC／おサイフケータイ ロックの設定を行うことができます。

2 画面の指示に従って、暗証番号を入力

- NFC／おサイフケータイ ロック設定中は、ステータスバーに［ ］が表示されます。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中に電池が切れると、NFC／おサイフケータイ ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後にNFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、NFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。

NFC／おサイフケータイ 設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［もっと見る］▶［NFC／おサイフケータイ 設定］

2 項目を選ぶ

- NFC／おサイフケータイ ロック：NFC／おサイフケータイ ロックについては☞P.42「NFC／おサイフケータイ ロック」
- Reader／Writer, P2P：Reader／Writer, P2P機能を利用するか設定します。
- Android Beam：Androidビームを利用したデータ通信ができます。
  - ・Androidビームについては☞P.69「Androidビーム」
- ロックNo.変更：NFC／おサイフケータイ ロックのロックNo.を変更します。お買い上げ時は「1234」に設定されています。
- ロックNo.初期化：NFC／おサイフケータイ ロックのロックNo.を利用して、ロックNo.をお買い上げ時の状態に初期化します。

SHカメラ

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- 電池残量が少ないときは、撮影できません。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうときがありますので、ご注意ください。
- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データを保存し、自動終了します。
- [フォーカス設定]を切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なるときがあります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりするときがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整したりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できるときがあります。
- 撮影した静止画は、DCF 1.0準拠(Exif Ver.2.3、JPEG準拠)の形式で保存されます。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。
カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

■ カメラを使用中の動作について

- 起動中に約3分間何も操作しないと自動的に終了します。
- シャッター音の音量は変更できません。

■ カメラの撮影サイズ

- 設定できる撮影サイズは次のとおりです。

撮影モード	画面比率	撮影サイズ
静止画撮影	16：9	4K2K:3840×2160※1
		3.7M:2560×1440※2
		FULL HD:1920×1080
	4：3	13M:4128×3096※1
		8M:3264×2448※1
		5M:2592×1944※2
		VGA:640×480※2
	1：1	9M:3096×3096※1
動画撮影	16：9	FULL HD:1920×1080
		HD:1280×720
	4：3	VGA:640×480

※1 アウトカメラのみ設定できます。
※2 インカメラのみ設定できます。

撮影画面の見かた

1 撮影可能枚数
- 撮影可能枚数が99枚以下になると表示されます。
- 撮影をしても表示が変わらない場合があります。

2 イン／アウトカメラ切替
- インカメラ／アウトカメラを切り替えます。
- インカメラ利用時は、一部の機能の利用や設定の変更ができません。

3 モバイルライト
- モバイルライトの設定を切り替えます。

4 撮影モード
- 撮影モードを切り替えます(☞P.45「撮影モードの切替」)。

5 動画撮影

6 静止画撮影

7 アルバム／サムネイル
- アルバムの起動、または直前に撮影した静止画や動画が表示されます。

- 撮影モードによっては、画面上部に設定変更用のアイコンが表示されます。アイコンをタッチすると設定を変更できます。

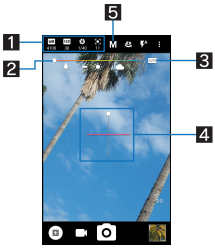
■ おすすめプラス

撮影シーンを選択すると、シーンに合った設定が自動で反映される撮影モードです。設定は調整することができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]

2 [ ]▶[おすすめプラス]

3 撮影シーンを選ぶ



1 設定アイコン表示エリア
- 選択したシーンに応じて、設定アイコンが表示されます。アイコンをタッチすると調整バーが表示され、設定を調整することができます。
- 表示されるアイコンで次の設定ができます。
  - ホワイトバランス:[ ]
  - ISO感度:[ ]
  - シャッター速度:[ ]
  - フォーカス:[ ]
  - 彩度:[ ]
  - コントラスト:[ ]
  - 明瞭度:[ ]

2 調整バー
- ドラッグすると設定を調整できます。

3 自動調整
- タッチすると、自動調整に切り替わります。

4 水準器
- 撮影画面の傾きを確認できます。

5 撮影シーン
- 撮影シーンを切り替えます。

ISO感度について
- 高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、静止画は粗くなります。

静止画の撮影

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]

2 本端末のカメラ(アウトカメラ)を被写体に向ける
- 明るさの調整:上下にスライド
- ズーム:左右にスライドまたはピンチアウト/ピンチイン
  - 最大倍率(ズームの段階)は約8.0倍(90段階)です。
- フォーカスロック:被写体をタッチ
  - フォーカスマーク以外をタッチすると解除されます。
  - フォーカス設定が[個別AE/AF]の場合、露出を合わせたい箇所まで[AE]をドラッグします。
  - フォーカス設定が[AF OFF]に設定されている場合は、フォーカスロックできません。

3 [ ]/ (+)/ (−)
- [個別AE/AF]以外でフォーカスロックをしている場合、フォーカスマークをタッチしても撮影できます。
- [ ]をロングタッチ、または (+)/ (−)を1秒以上押すと、静止画を連続撮影することができます。

- フォーカスロックは、主に被写体の色をもとに移動を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

動画の撮影

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]

2 本端末のカメラ(アウトカメラ)を被写体に向ける
- 明るさの調整:上下にスライド
- ズーム:左右にスライドまたはピンチアウト/ピンチイン
  - 最大倍率(ズームの段階)は約8.0倍(90段階)です。

3 [ ]
- フォーカスロック:被写体をタッチ
  - フォーカスマーク以外をタッチすると解除されます。
  - フォーカス設定が[個別AE/AF]の場合、露出を合わせたい箇所まで[AE]をドラッグします。
  - [個別AE/AF]以外でフォーカスロックをしている場合、フォーカスマークをタッチすると静止画が撮影されます。
  - フォーカス設定が[AF OFF]に設定されている場合は、フォーカスロックできません。

4 [ ]

- フォーカスロックは、主に被写体の色をもとに移動を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

カメラの設定

- 利用中の撮影モードなどによって、各機能の有無は異なります。

■ 静止画撮影の設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]

2 [ ]

3 [写真]

4 項目を選ぶ
- ■ 写真サイズ:静止画の撮影サイズを切り替えます。
- ■ フレーミングアドバイザー:撮影時のシーンに応じて、構図の分割線やガイドの種類を切り替えます。
- ■ HDR:逆光などコントラストが強いシーンで、白とびを軽減して撮影するか設定します。
- ■ ISO感度:撮影場所の明るさに合わせて、光を取り込む感度を設定します。
- ■ ワンタッチシャッター:画面をタッチして撮影するか設定します。
- ■ インカメラ美肌調整:インカメラ利用時に美肌調整を行う効果レベルを設定します。
- ■ インカメラレンズ補正:インカメラ利用時に歪みを抑える画像処理を行うか設定します。

■ 動画撮影の設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]

2 [ ]

3 [動画]

4 項目を選ぶ
- ■ 動画サイズ:動画の撮影サイズを切り替えます。
- ■ マイク設定:マイクを利用するか設定します。

■静止画撮影／動画撮影の共通設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]

2 [⋮]

3 [共通]

4 項目を選ぶ

- フルマニュアル項目選択:おすすめプラスの「フルマニュアル」利用時に、設定アイコン表示エリアに表示するアイコンを選択します。
  - ・アイコンは4個まで表示できます。
- 白とび／黒つぶれ表示:白とびや黒つぶれが起こる部分にしま模様を表示するか設定します。
- 水準器:水準器を表示するか設定します。
- フォーカス設定:被写体に合わせてフォーカスを設定します。
  - ・[顔優先AF]を設定している場合は、人の顔を検出します。
- タイマー:タイマーをセットし自動で撮影するか設定します。
  - ・インカメラ利用時に[⏱]／[⏱]／[⏱]をタッチすると、タイマーをセット／解除できます。
- ちらつき防止:蛍光灯のある場所で撮影するとき、画面にしま模様が出にくくなるように設定します。
- 保存先設定:保存先を設定します。
- 位置情報付加:位置情報を付加するか設定します。
- ヘルプ:撮影画面に表示されるアイコンの機能やタッチパネルの操作、機能の使いかたについて確認することができます。
- 機能紹介:「体験しよう！」で使いかたの動画を確認することができます。
- PHOTOSHOW(Webページ):シャープのサイトに接続し、シャープ製スマートフォンを使って撮影された写真を例に、カメラの機能や撮影方法を確認できます。
- 設定リセット:設定をリセットします。

■撮影モードの切替

撮影環境や被写体に合わせて撮影モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]

2 [📷]

3 項目を選ぶ

- おすすめオート:被写体に合わせて自動的に調整するモードです。
- おすすめプラス:おすすめプラスについては☞P.44「おすすめプラス」
- タイムラプス:一定の間隔をあけて撮影した静止画をつなげて動画を作成します。
- 花火撮影:打ち上げ花火の撮影に適したモードです。花火を自動撮影することもできます。
- モノクロ:モノクロ撮影するモードです。
- 読取カメラ:読取カメラを起動し、QRコードやバーコード、名刺などを読み取ります。
  - ・利用する際にはアプリをダウンロードする必要があります。
- 手鏡:インカメラを利用して、手鏡のように自分を映します(撮影はできません)。
  - ・手鏡を利用中に画面をタッチすると、画面が一時停止します。再度画面をタッチすると、一時停止は解除されます。
- SHSHOW:シャープのサイトに接続し、カメラを活用するためのアプリをダウンロードできます。

アルバム

画像や動画をイベントや場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます。

- 画像を表示する際はディテールの向上処理が行われ、画像がより精細に表示されます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[アルバム]

2 [▤]▶カテゴリを選ぶ

3 データを選ぶ

- データの削除:データをロングタッチ▶[削除]▶[はい]

4 データを確認する

- ファイルが表示されない場合は、アルバムのデータベースファイルを削除することで正常に動作する可能性があります。端末とパソコンを指定のmicroUSBケーブルで接続して、本体メモリまたはmicroSDカードの/PRIVATE/SHARP/PM/DATABASEフォルダを削除してから使用してください。データベースファイルを削除した場合、作成されたイベントや場所などの情報も削除されます。十分にご確認の上、操作してください。

データの振り分け

画像や動画を作成したグループごとに整理できます。

■イベントごとに振り分け

1 アルバム画面で[▤]▶[イベント]

2 [未設定]

3 [✎]▶[イベントを新規作成]

4 分類するデータを選ぶ▶[作成]

5 [イベント名を入力する]▶イベント名を入力▶[OK]▶[作成]

■場所ごとに振り分け

- 位置情報の付加されているデータは、自動的に地図上に振り分けられます。

1 アルバム画面で[▤]▶[場所]

2 [⋮]▶[場所設定]

3 分類するデータをロングタッチ▶登録する位置までドラッグ▶[OK]

データの表示／非表示

すべての画像や動画を表示する表示モードと、あらかじめ設定した画像や動画を非表示にする非表示モードを利用できます。

■データの表示／非表示を設定

非表示モードでデータを非表示にするか設定します。

- 非表示モードのときは設定できません。表示モードで設定してください。

データごとに設定

1 アルバム画面でデータを選ぶ

2 [☺]／[☹]

- [☺]が表示、[☹]が非表示を表します。データを非表示に設定すると、アルバム画面のサムネイルにも[☹]が表示されます。

複数のデータをまとめて設定

1 アルバム画面で[⋮]▶[画像の表示／非表示]

2 [非表示画像を選択]／[表示画像を選択]

3 データを選ぶ▶[決定]▶[はい]

- 画像や動画の非表示設定は、「アルバム」アプリでのみ有効です。画像や動画を非表示に設定していても、他のアプリでは表示されます。

■表示モードの切替

表示モード／非表示モードを切り替えます。

1 アルバム画面で[⋮]▶[画像の表示／非表示]

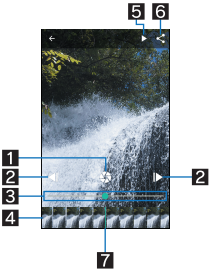
2 [非表示モードへ切替]／[表示モードへ切替]

あとからキャプチャー

動画の中からフレームを選択し、静止画として保存することができます。

1 アルバム画面で動画を選ぶ

2 [ ]



1 静止画キャプチャー
- タッチすると表示中のフレームを静止画として保存します。

2 コマ戻し／コマ送り
- 1コマ前／先のフレームを表示します。

3 シークバー
- シークバーをドラッグすると表示位置を変更できます。

4 サムネイル
- 1秒あたり1枚の画像が表示されます。
- サムネイルをドラッグすると表示位置を変更できます。

5 再生／一時停止

6 共有
- タッチすると表示中のフレームを静止画として保存し、他のアプリで利用できます。

7 表示位置
- 現在表示しているフレームの位置を表します。

GPS／ナビ

マップを利用して、ストリートビューを表示したり、ルートの検索をしたりできます。また、表示中の地図の周辺施設をジャンル別に検索することもできます。

GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります(☞P.58「位置情報」)。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因(電池切れを含む)によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化や電波の停止など)される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - ■密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - ■建物の中や直下
  - ■地下やトンネル、地中、水中
  - ■高圧線の近く
  - ■自動車や電車などの室内
  - ■大雨や雪などの悪天候
  - ■かばんや箱の中
  - ■端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
  - ■GPSアンテナ付近を手で覆い隠すように持っている場合
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得し、パケット通信料がかかる場合があります。
- 位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。

マップ

現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります(☞P.58「位置情報」)。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[マップ]

2 マップを利用する
- 地図を回転:1本の指でタッチパネルに触れたまま、別の指で回転したい方向に地図を動かす
- 立体的に表示:2本の指で同時に上にスライド
- 現在地の測位:[ ]

■ストリートビュー

1 マップ画面で任意の場所をロングタッチ

2 表示される画像をタッチ

- 表示する方角の変更:画面を上下左右にスライド
- 表示する場所の移動:画面を2回タッチ、青線をスライド
- コンパスモード:[ ]

- ストリートビューは対応していない地域もあります。
- コンパスモードを利用すると、端末の地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。

■ルートの検索

出発地から目的地までのルートを検索することができます。

1 マップ画面で[ ]

2 移動手段を選ぶ▶上の検索ボックスをタッチ

- 現在地を測位している場合は、現在地が入力されています。

3 出発地を入力

4 下の検索ボックスをタッチ

5 目的地を入力

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■周辺施設の検索

表示中の地図の周辺施設をジャンル別に検索することができます。

1 マップ画面で検索ボックスをタッチ

2 検索したい施設のジャンルを選ぶ

- 検索ボックスに検索する場所を入力しても検索できます。

3 検索結果を利用する

- 詳細情報の表示:住所/地名/施設名などを選ぶ

YouTube

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[YouTube]

2 動画を選ぶ

- 検索ボックスの表示:[ ]

アラーム・時計

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用できます。

アラーム

指定した時刻にアラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[アラーム・時計]▶[ ]

2 登録先の時刻をタッチ

- 登録先の追加:[ ]

3 時刻を選ぶ▶[OK]

4 各項目を設定

1 繰り返し
- 繰り返しを設定します。

2 アラーム音
- アラーム音を設定します。

3 ラベル
- ラベルを入力します。

4 削除
- アラームを削除します。

5 アラームON/OFF
- アラームの有効/無効を切り替えます。

6 バイブレータ設定
- バイブレータを利用するか設定します。

7 表示切替

- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。
- 通話中にアラーム設定時刻になると、相手の声と一緒に通知音が聞こえます。

■アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 アラーム鳴動中に[ ]を[ ]までスライド

- スヌーズの利用:[ ]を[ ]までスライド

ディスプレイの表示中に止める

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中にアラーム設定時刻になると、アラーム通知が表示されます。通知を利用してアラームを止めることができます。

1 アラーム鳴動中に[解除]

- スヌーズの利用:[スヌーズ]

■アラーム音量の設定

1 アラーム画面で[ ]▶[設定]

2 [アラームの音量]▶音量を調節

世界時計

世界各地の都市の時刻を表示できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[アラーム・時計]▶[ ]

2 [ ]

3 都市を選ぶ

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせします。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[アラーム・時計]▶[ ]

2 時間を入力▶[ ]

- 時間を1分追加:[+1′]
- カウントダウンの停止:[ ]
- カウントダウンのリセット:[ ]
- 設定した時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。
  - ・アラーム音の停止:[ ]

■名称の変更

1 タイマー画面で[ラベル]

2 名称を入力▶[OK]

■タイマーの追加

1 タイマー画面で[ ]

■タイマーの削除

1 タイマー画面で[ ]

ストップウォッチ

ストップウォッチを利用して時間を計測します。ラップタイム(経過時間)/スプリットタイム(合計経過時間)も計測できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[アラーム・時計]▶[ ]

2 [ ]

- ラップタイム/スプリットタイムの計測:[ ]

3 [ ]

- 計測結果のリセット:[ ]

● ラップタイム/スプリットタイムを99件まで表示できます。

カレンダー

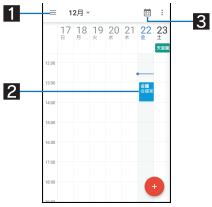
カレンダーを利用してスケジュールの管理ができます。

● あらかじめ、アカウント設定をしておいてください(☞P.24「Googleなどのアカウントの設定」)。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[カレンダー]

- 初回起動時には説明画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 スケジュールを確認する



1 表示切替
- カレンダーの表示方法を切り替えます。

2 登録されているスケジュール

3 今日を表示

スケジュールの作成

1 カレンダー画面で[ ]▶[予定]

2 各項目を設定

1 タイトル、参加者、場所など

2 カレンダー
- カレンダーのオーナーを設定します。

3 終日
- 終日設定を切り替えます。

4 開始日時

5 終了日時

6 詳細オプション
- 予定のタイムゾーンや、繰り返しを設定します。

7 場所

8 通知
- 開始日時のどのくらい前に通知するかを設定します。
- [別の通知を追加]をタッチすると、通知の設定を追加できます。

9 ユーザーを招待
- 招待する相手のメールアドレスを入力します。

⑩ 予定の色
- 予定の色を設定します。

⑪ メモを追加

⑫ 添付ファイルを追加

3 [保存]

カレンダーの設定

1 カレンダー画面で[≡]▶[設定]

2 項目を選ぶ

■ 全般:カレンダー全般について設定します。

■ Gmailから予定を作成:Gmailで予定に関するメールを受信すると、自動的にスケジュールを追加するが設定します。

- カレンダーごとの予定の色や通知のデフォルトなどについて設定できます。

スケジュールの削除

1 カレンダー画面でスケジュールを選ぶ

2 [⋮]▶[削除]▶[削除]

電卓

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電卓]

2 計算する

- 計算結果のコピー:計算結果をロングタッチ▶[コピー]
- ヘルプの表示:[⋮]▶[ヘルプ]

からだメイト

歩数や体重などを記録することができます。歩数や体重の履歴をグラフで表示して、日別/月別で比較することもできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[からだメイト]

2 [はい]

3 ユーザー情報の各項目を設定▶[歩数計ON]▶[◁]

- お買い上げ時は、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定しておいてください。
- 電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
- 歩数計の表示は、1日に一度リセットされます。

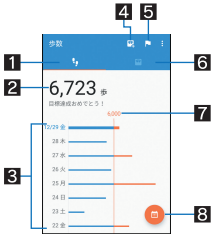
機種変更時のご注意

- からだメイトに記録した歩数や体重などのデータは、Googleアカウントによってバックアップされ、機種変更しても引き継ぐことができます。からだメイトに対応した新しい端末の初回起動時に、初期設定で機種変更前と同じGoogleアカウントを設定し、データを復元してください。

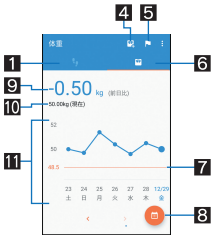
歩数測定時のご注意

- 次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。
  - ■ 端末が不規則に動く場合
    - ・端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
    - ・端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき
  - ■ 不規則な歩行をした場合
    - ・すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
    - ・混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
  - ■ 上下運動や振動の多いところで使用した場合
    - ・立ったり座ったりしたとき
    - ・スポーツを行ったとき
    - ・階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき
    - ・乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗って、上下振動や横揺れしているとき
    - ・スピーカーから音が出ているとき
    - ・バイブレータが振動しているとき
  - ■ 極端にゆっくり歩いた場合
- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中など端末を固定できる場所に入れてください。
- 歩き始めの約4秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあとも歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。

■ からだメイト画面の見かた



歩数モード画面



体重モード画面

1 歩数モード

2 今日の歩数

3 歩数の履歴
- 日々/月々の歩数が棒グラフで表示されます。グラフをタッチすると、タッチした日/月の歩数や歩行距離、消費カロリーなど、詳細情報が表示されます。

4 体重入力
- タッチすると、日々の体重を入力することができます。
- エモバーを利用すると、音声で体重を入力することもできます。エモバーについては☞P.54「エモバー」

5 目標設定
- タッチすると、歩数や体重の目標を設定することができます。
  - ・からだメイト画面で[⋮]▶[目標設定]でも目標を設定できます。
- 設定した目標の削除:目標の設定画面で[リセット]

6 体重モード

7 目標値

8 表示切替
- 日別／月別の表示を切り替えます。

9 前回との差

10 最新の体重

11 体重の履歴
- 日々／月々の体重が折れ線グラフで表示されます。グラフをタッチすると、タッチした日／月の体重やBMIなど、詳細情報が表示されます。
- 表示する月や週の移動:[<]／[>]

■ユーザー情報の変更

1 からだメイト画面で[⋮]▶[ユーザー情報]

2 各項目を設定

■からだメイトの停止

1 からだメイト画面で[⋮]▶[歩数計設定]

2 [歩数計ON]
- [歩数計ON]を無効にすると、からだメイトが停止します。

■データリセット

歩行データや体重データをすべて削除します。

1 からだメイト画面で[⋮]▶[データリセット]▶[はい]

■用語説明の確認

1 からだメイト画面で[⋮]▶[用語の説明]

2 用語を選ぶ

端末設定

設定メニュー

ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]で表示されるメニューから、端末の各種設定を行うことができます。

- 先頭には、おすすめの設定が候補として表示されます。
- 端末設定を表示中に[🔍]▶検索するキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- 設定画面で[☰]をタッチすると、設定項目がリスト表示されます。設定項目を選択して、他の設定項目に移動することができます。

プロフィール	nanoSIMカードをご使用の場合はお客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。
通知	アプリの通知について設定します。
音	着信音・お知らせ音などについて設定します。
ヒカリエモーション	着信／充電ランプが点滅するタイミングや光りかたについて設定します。
ディスプレイ	画面表示などについて設定します。
便利機能	スクロールオートやClip Now、モーションでON／OFF、フリップカバー使用時の表示に関する設定、セルフチェックを行います。
エモバー	あらかじめ登録したお客様の情報やエモバーの設定に基づき、タッチパネルのロック画面でさまざまな情報を音声や画面表示でお伝えします。
省エネ＆バッテリー	長エネスイッチの起動や電池の利用状況の確認などを行います。
通話	音声・伝言メモや着信拒否など、通話について設定します。
ホーム切替	ホームアプリを切り替えます。
アプリ	アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどができます。
ストレージ	本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。
メモリ	メモリ(RAM)の使用状況を確認します。
タップ＆ペイ	おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効／無効の設定ができます。
Wi-Fi	Wi-Fi機能について設定します。
Bluetooth	端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。
データ使用量	モバイルネットワークやWi-Fiネットワーク経由のデータ使用量を確認できます。
もっと見る	無線とネットワークについて、その他の機能の設定を行います。
位置情報	位置情報の測位について設定します。
ロックとセキュリティ	セキュリティロックについて設定します。
言語と入力	画面に表示される言語や、文字入力、テキスト読み上げなどについて設定します。
バックアップとリセット	Googleアカウントによるデータのバックアップや端末間のデータ引き継ぎ、オールリセットなどを行います。
アカウント	アカウントの追加や設定、データの同期について設定します。
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。
日付と時刻	日時の設定や表示形式について設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
印刷	印刷用アプリ(プラグイン)をインストールすると、印刷機能に対応したアプリで印刷することができます。
端末情報	端末情報の確認ができます。

プロフィール

nanoSIMカードをご使用の場合はお客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[プロフィール]

2 [編集]

3 各項目を設定▶[保存]▶[はい]

通知

アプリの通知について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[通知]

2 アプリを選ぶ

3 通知について設定

■ ロック画面の通知

タッチパネルのロック画面に表示する通知について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[通知]▶[⚙]

2 [ロック画面の通知]▶通知の表示／非表示を選ぶ

- [プライベートな通知内容を非表示にする]を選択すると、ロック画面に表示する通知で、相手の電話番号や通知の件数など、詳細を表示しないようにします。
  - 画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定しているときに利用できます。

音

着信音・お知らせ音などについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[音]

2 項目を選ぶ

- ■ メディアの音量:メディア音(音楽や動画など)の音量を設定します。
- ■ アラームの音量:アラームの音量を設定します。
- ■ 着信音の音量:着信音の音量を設定します。
- ■ エモバーの音量:エモバーの音量を設定します。
- ■ 着信音:着信音を設定します。
- ■ 着信時のバイブ:着信時にバイブレータを動作させるか設定します。
- ■ 着信時のバイブパターン:着信時のバイブレータのパターンを設定します。
- ■ 通知を非表示:優先する通知や、特定の時間帯などの通知動作について設定します。
  - マナーモードの詳細設定から設定することもできます(☞P.27「マナーモード」)。
- ■ デフォルトの通知音:お知らせ音を設定します。
- ■ デフォルトのアラーム音:アラーム音を設定します。

■ 緊急警報:緊急警報について設定します。
■ その他の音:特定のキー操作時などのバイブレータ動作や、メニューなどをタッチしたときの操作音の有無などを設定します。

ヒカリエモーション

着信／充電ランプが点滅するタイミングや光りかたについて設定します。

● 着信時や充電開始時などは、着信／充電ランプの点滅に合わせてディスプレイに光の演出が表示されます。着信時の光の演出は、着信／充電ランプの点滅パターンや点滅カラーに合わせて変わります。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ヒカリエモーション]

2 項目を選ぶ

■ 電話着信中:着信時に光を点滅させて通知するか設定します。
■ 電話着信パターン／カラー:着信時の点滅パターンや点滅カラーについて設定します。
■ お知らせ通知:お知らせ受信時に光を点滅させて通知するか設定します。
■ 就寝時に暗くする:特定の時間帯に着信／充電ランプの光の強さを抑えるか設定します。
■ 時間設定:[就寝時に暗くする]で光の強さを抑える時間帯を設定します。
・[エモパー連動]にすると、エモパーが学習したお客様の就寝時間に、[就寝時に暗くする]が有効になります。
■ 充電開始時:充電開始時に光を点滅させるか設定します。
■ 充電中:充電中、光の強さを一定のパターンで変化させるか設定します。
■ ロック解除時:タッチパネルのロック解除時に光を点滅させるか設定します。
■ 終話時:通話が終了したときに光を点滅させるか設定します。
■ 画面の明るさを落とす時:一定時間端末を操作せずに画面が消灯する際、光を点滅させるか設定します。

[充電中]について
● 不在着信などの通知がある場合や電源が切れている場合は、光の強さが変化しません。

ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ディスプレイ]

2 項目を選ぶ

■ 壁紙:ホーム画面やタッチパネルのロック画面の画像を設定します。
■ 明るさのレベル:明るさのレベルについては☞P.52「明るさのレベル」
■ スリープ:バックライトの点灯時間を設定します。
■ 電源ボタンを2回押してカメラを起動:▯(⏻)を2回押してSHカメラを起動するか設定します。
■ リラックス設定:リラックス設定については☞P.52「リラックス設定」
■ 画質モード:画質について設定します。
■ 端末が回転したとき:端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。
■ 文字フォント設定:文字のサイズやフォントについて設定します。
■ 表示サイズ:画面に表示されるアイコンなどのサイズを設定します。
■ のぞき見ブロック:のぞき見ブロックについては☞P.53「のぞき見ブロック」
■ スクリーンセーバー:スクリーンセーバーを利用するか設定します。
■ 電池残量%表示:ステータスバーに電池残量をパーセントで表示するか設定します。

[スリープ]について
● 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[画質モード]について
● [リラックスビュー]が有効の場合は、画質モードを設定できません。

[端末が回転したとき]について
● 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

[文字フォント設定]について
● Google Playなどでダウンロードしたアプリを起動したときに、正しく表示されない場合があります。

明るさのレベル

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ディスプレイ]▶[明るさのレベル]

2 項目を選ぶ

■ 明るさを自動調整:バックライトの明るさを自動で調整するか設定します。自動で調整を行わない場合は、手動で明るさを設定してください。
■ 充電時は明るくする:充電中はディスプレイの表示を明るくするか設定します。

3 [OK]

[明るさを自動調整]について
● ディスプレイの明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

リラックス設定

目に優しい画質モードの利用について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ディスプレイ]▶[リラックス設定]

2 項目を選ぶ

■ リラックスビュー:目に優しい画質モードにするか設定します。
■ リラックスオート:特定の時間帯にリラックスビューにするか設定します。
■ リラックスオートの概要:機能の説明を表示します。
■ 時間設定:[リラックスオート]でリラックスビューにする時間帯を設定します。
・[エモパー連動]にすると、エモパーが学習したお客様の就寝前に、[リラックスビュー]が有効になります。
■ 画質設定:リラックスビューの画質を設定します。

のぞき見ブロック

周りの人からディスプレイを見えにくくします。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ディスプレイ]▶[のぞき見ブロック]

2 項目を選ぶ

- ■ のぞき見ブロック:のぞき見ブロックを有効にするか設定します。
- ■ 強弱設定:周りの人から見えにくくする効果(濃淡)を調整します。

[のぞき見ブロック]について

- 電源を切ると[のぞき見ブロック]が無効になります。

便利機能

スクロールオートやClip Now、モーションでON/OFF、フリップカバー使用時の表示に関する設定、セルフチェックを行います。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[便利機能]

2 項目を選ぶ

- ■ スクロールオート:スクロールオートについては☞P.53「スクロールオート」
- ■ Clip Now:Clip Nowについては☞P.53「Clip Now」
- ■ モーションでON/OFF:モーションでON/OFFについては☞P.54「モーションでON/OFF」
- ■ フリップカバー使用時の表示:小窓付きのフリップカバーを装着している場合、小窓画面を表示するか設定します。
- ■ セルフチェック:セルフチェックについては☞P.54「セルフチェック」

[フリップカバー使用時の表示]について

- 画面ロックを[なし]以外に設定しているときに、小窓画面を表示できます。

スクロールオート

表示中のサイトなどの画面を上下方向に自動でスクロールできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[便利機能]▶[スクロールオート]

2 項目を選ぶ

- ■ スクロールオート ON/OFF設定:スクロールオートを利用するか設定します。
- ■ 対象アプリ設定:スクロールオートを動作させるアプリを設定します。
- ■ ステータスバーへの通知:対象アプリが起動しているときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。
- ■ 体験しよう!:「体験しよう!」で使いかたを確認することができます。

■ 画面の自動スクロール

1 スクロールする方向に画面をドラッグ▶表示された矢印に指を合わせ、指を離す

- 指を離すとスクロールを開始します。
- 約5分間動作するとスクロールを停止します。
- スクロール速度の調整:[+]/[−]
- スクロールの停止:画面をタッチ

- 画面をドラッグする速度が速すぎると、矢印が表示されません。
- 画面の位置によっては、指を離しても自動スクロールしない場合があります。
- 自動スクロール中は画面の左端に[◯]が表示され、スクロールの動きを表します。

Clip Now

画面の縁を指でなぞることで表示中の画面を画像(保存用スクリーンショット)として撮影できます。Chrome画面を撮影した場合は、保存用スクリーンショットとあわせてURLも保存することができます。
また、画面を一時的に保存できる一時メモ用スクリーンショットを利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[便利機能]▶[Clip Now]

2 項目を選ぶ

- ■ Clip Now ON/OFF設定:Clip Nowを利用するか設定します。
- ■ 使い方ガイド:Clip Nowについての説明を表示します。
- ■ なぞり動作設定:保存用スクリーンショットや一時メモ用スクリーンショットを利用するか設定します。
- ■ 共有メニューの表示:一時メモを撮影したときに、共有メニューを表示するか設定します。
- ■ 全件削除:撮影した保存用スクリーンショットを全件削除します。

- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

[なぞり動作設定]について

- 両方の機能を無効にすることはできません。Clip Nowを利用しない場合は、[Clip Now ON/OFF設定]でClip Nowを無効にしてください。

■ 保存用スクリーンショットの利用

1 保存したい画面をディスプレイに表示▶画面の左上/右上から、画面の縁を右/左になぞる

- Chrome画面を撮影した場合は、URLも保存されます。
- 撮影した画像やURLは、ホーム画面にアプリシートを表示▶[Clip Now]で確認できます。

■ 一時メモ用スクリーンショットの利用

1 一時的に保存したい画面をディスプレイに表示▶画面の左上/右上から、画面の縁を下になぞる

- 一時メモの確認:画面の左端または右端に表示される一時メモの一部を画面の中央にドラッグ
- 一時メモの削除:一時メモをタッチ▶[🗑]までドラッグ

モーションでON／OFF

端末を手に持っているときやポケットに入れたときなど、動作によってディスプレイを表示／非表示にする機能について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[便利機能]▶[モーションでON／OFF]

2 項目を選ぶ

- ■ 持つと画面点灯：ディスプレイの表示が消えている場合、端末を持ち上げて静止したときに、ディスプレイを表示させるか設定します。
- ■ 体験しよう！：「体験しよう！」で使いかたを確認することができます。
- ■ Bright Keep：端末を手に持っているときはディスプレイの表示が消えないようにするか設定します。
- ■ ポケットに入れて消灯：端末をポケットに入れたときにディスプレイの表示を消すか設定します。

[持つと画面点灯]について

- お買い上げ時は有効になっています。
- 次の場合などは、ディスプレイが表示されないことがあります。
  - ・端末を持ったまま動いている場合（乗車中）
  - ・持ち上げる前や持ち上げたあとに、端末を動かし続けている場合
  - ・垂直または水平に持ち上げた場合

[Bright Keep]について

- Bright Keepを設定し、端末を手に持っていても、端末の静止状態が続いた場合や、一定時間何も操作していない場合はディスプレイの表示が消える場合があります。
- Bright Keepを[ON（通知あり）]に設定すると、ステータスバーに[ ]が表示されます。

[ポケットに入れて消灯]について

- タッチパネルのロック画面表示中やホームアプリ利用中に動作します。

セルフチェック

症状や機能を選択して、端末の診断を行います。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[便利機能]▶[セルフチェック]

- セーフモードで再起動：[セーフモードで再起動]▶[OK]

2 [チェックスタート]

3 [端末の症状から選択]／[端末の機能から選択]

4 項目を選ぶ

- [端末の機能から選択]の場合は、項目を選んで[次へ]をタッチします。また、項目の[ ]をタッチすると、診断についてのヘルプが表示されます。

5 [次へ]

6 [診断開始]

- 診断の中止：[キャンセル]▶[次の項目]／[はい]
- 診断履歴をタッチすると、結果を確認することができます。

エモパー

あらかじめ登録したお客様の情報やエモパーの設定に基づき、タッチパネルのロック画面でさまざまな情報を音声や画面表示でお伝えします。エモパーの音声にお客様が声で応答すると、エモパーが音声や画面表示で反応します。
また、エモパーを使ったメモ機能（エモパーメモ）や、健康応援機能（エモパーヘルスケア）が利用できます。
利用するにつれて、お客様の端末使用状況を理解し、より適切なタイミングで情報をお伝えするようになっていきます。

- エモパーをご利用になる場合は、パケット通信料がかかります。
- 自宅や周辺の施設情報などを認識するために、現在地を測位する場合があります。現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります。位置情報のモードは[高精度]に設定してください。[位置情報]がOFFのときや、モードが[バッテリー節約]のときは、現在地測位が必要な情報をお伝えできません（☞P.58「位置情報」）。
- お買い上げ時はエモパーが部分的にONの状態になっており、充電開始時／完了時のみお話しします。OFFにする場合は、エモパーの初期設定画面で[OFFにする]をタッチしてください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[エモパー]

- ホーム画面にデスクトップシートを表示▶[エモパー]でもエモパーを設定できます。
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 初期設定完了後に[ ]▶[あなたについて]で職場・学校や誕生日などを設定することをおすすめします。エモパーがお話しする機会や内容のバリエーションが増えることがあります。
- 初期設定が完了している場合はエモパー画面が表示され、エモパーの状態やお客様についての情報、歩数や予定などの日常の記録（約1週間分）が確認できます。

エモパーの設定

1 エモパー画面で[ ]

- エモパーのON／OFFを切り替えることができます。

2 項目を選ぶ

- ■ エモパー選択：エモパーやエモパーの名前を設定します。また、サイトからエモパーを追加できます。
- ■ 基本動作について：エモパーの音量やマナーモード中の動作など、基本動作について設定します。
- ■ あなたについて：ニックネームや自宅、職場・学校など、お客様の情報を設定します。
- ■ エモパーの話題：エモパーがお伝えする情報を設定します。
- ■ エモパーメモ：エモパーメモの利用について設定します。
- ■ エモパーヘルスケア：エモパーヘルスケアの利用について設定します。
- ■ エモパー使い方ガイド：公式エモパー情報サイトEMOPARK（エモパーク）の「エモパー使い方ガイド」に接続します。
- ■ よくある質問（FAQ）：公式エモパー情報サイトEMOPARK（エモパーク）の「よくある質問（FAQ）」に接続します。
- ■ エモパーの記憶：エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータの保存や削除、復元ができます。
- ■ 初期設定：エモパーの初期設定を行います。
- ■ 注意事項：エモパーバージョンや利用規約・プライバシーポリシーなどを確認できます。

エモパーがお話しするタイミング

- あなたについての[自宅]や[自宅のほかにお話しできる場所]に設定した場所で、ロック画面表示中や画面消灯中に端末を水平に置いたときなどに話します。
- イヤホンを接続中は、場所や時間帯にかかわらず話します。

● ロック画面表示中に端末を数回(2秒程度)振ると話します。

エモパーの記憶の引き継ぎかた

● エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータは、Googleアカウントによってバックアップされ、機種変更しても引き継ぐことができます。エモパーに対応した新しい端末の初回起動時に、初期設定で機種変更前と同じGoogleアカウントを設定し、データを復元してください。
● エモパーの記憶をmicroSDカードに保存し、エモパーに対応した新しい端末に引き継ぐことができます。
・記憶の保存:エモパー画面で[⚙]▶[エモパーの記憶]▶[記憶の保存]▶[OK]
・記憶の復元:エモパー画面で[⚙]▶[エモパーの記憶]▶[記憶の復活]▶[OK]

エモパーメモを利用

エモパーに予定などメモしたい内容を話しかけるとエモパーが記憶し、予定にあわせてお伝えします。また、エモパーメモを利用してアラームやタイマーを設定することもできます。
● ロック画面を2回タッチしてから話しかけてください。
● ロック画面では、時計やアイコン、情報などが表示されていないところをタッチしてください。
● 外出先で話しかける場合は、電話をかけるように受話口を耳に当ててください。
● エモパーが記憶したメモは、カレンダーに登録されます。「明日」、「今週」、「そろそろ」のような時期を表す単語を含めて話しかけると、メモに合わせたタイミングでエモパーがお伝えします。
● アラームを設定する際は、「XX時XX分にアラーム」のように話しかけてください。アラームは、「アラーム・時計」アプリに登録されます。
● タイマーを設定する際は、「××分タイマー」や「タイマー起動して」のように話しかけてください。「アラーム・時計」アプリのタイマーが起動します。

エモパーヘルスケアを利用

お客様の体重や歩数について、気にかけたり応援したりするお話しで、健康維持やダイエットをサポートします。
● 体重はエモパーメモと同じ手順で話しかけることで覚えます。
・エモパーに体重を話しかける際は、「今日の体重　XX.Xキロ」のように話しかけてください。
● 株式会社タニタの一部の体組成計と連携することで、体重を覚えることもできます。
・体組成計との連携については、[エモパーヘルスケア]▶[タニタ体組成計との連携]から設定することができます。画面の指示に従って操作してください。
・エモパーとの連携に対応する体組成計については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。
● お客様の体重や歩数は、からだメイトで管理されます。

● エモパーの初期設定を行うと[歩数計ON]が有効になります(☞P.49「からだメイト」)。
● エモパーが話しているときに▯(+)/▯(−)を押すと音量を調節できます。
● 午前2:00〜午前5:00の間は話しません。
● エモパーは日本語にのみ対応しています。
● エモパーがお伝えする情報は、お客様の端末使用状況と正確には合っていない場合があります。
● イヤホンを接続していない場合、ディスプレイを下にして端末を置いていると、エモパーは話しません。

公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)について

● エモパーは、使いかたの改善や変更、お話しするバリエーションの増加などを目的に、Play ストアからアップデートすることがあります。
本書の内容から変更されることがありますので、エモパーに関する最新の情報については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。
http://k-tai.sharp.co.jp/dash/emopa/

省エネ&バッテリー

長エネスイッチの起動や電池の利用状況の確認などを行います。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[省エネ&バッテリー]

2 項目を選ぶ

■ 長エネスイッチ:長エネスイッチについては☞P.55「長エネスイッチ」
■ 電池:電池の利用状況などを確認できます。

● 電池の最適化を行うと、各アプリの電池消費を抑えるため、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。電池の最適化の設定については☞P.32「電池の最適化の設定」

長エネスイッチ

端末の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[省エネ&バッテリー]▶[長エネスイッチ]

2 [OFF]/[ON]

3 項目を選ぶ

■ 長エネスイッチの概要:機能の説明を表示します。
■ 詳細設定:制限する機能を個別に設定します。
■ 電池残量で切替:設定した電池残量以下の場合、長エネスイッチを自動で[ON]にするか設定します。
■ 切替条件設定:[電池残量で切替]で長エネスイッチを[ON]にする電池残量を設定します。

● 充電を開始すると長エネスイッチは[OFF]になります。
● [電池残量で切替]によって長エネスイッチが[ON]になっているとき、[電池残量で切替]を無効にしても長エネスイッチは[OFF]になりません。

アプリ

アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［アプリ］

2 アプリを選ぶ

■アプリの無効

アプリの動作を停止し、アンインストールせずにアプリシートに表示しないように設定します。

● アンインストールできないアプリを無効にできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［アプリ］

2 アプリを選ぶ

3 ［無効にする］▶［アプリを無効にする］

● アプリを無効にすると、無効にされたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリを有効にしてください。

■アプリの有効

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［アプリ］

2 アプリを選ぶ

3 ［有効にする］

アプリの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［アプリ］▶［⚙］

2 項目を選ぶ

- ■アプリの権限：アプリの権限については☞P.32「利用する機能について設定」
- ■リンクを開く：他のアプリなどからの連携について設定します。
- ■アシストと音声入力：［◉］をロングタッチして起動するアプリについて設定します。
- ■ホームアプリ：デフォルトのホームアプリを設定します。
- ■ブラウザアプリ：デフォルトのブラウザアプリを設定します。
- ■電話アプリ：デフォルトの電話アプリを設定します。
- ■SMSアプリ：デフォルトのSMSアプリを設定します。
- ■特別なアクセス：電池の最適化やシステム設定の変更など、特別なアクセスについて設定します。

ストレージ

本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［ストレージ］

- 本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量が表示されます。
  - ・microSDカードやUSBメモリを取り付けていない場合は、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。

2 ストレージを選ぶ

- ［内部共有ストレージ］を選択すると、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。詳細画面で［フォルダ一覧］を選択すると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
- microSDカードやUSBメモリを選択すると、保存されているデータの一覧が表示されます。
- microSDカードやUSBメモリのマウント解除：microSDカード／USBメモリの［⏏］
- microSDカードやUSBメモリをマウント：microSDカード／USBメモリを選ぶ▶［マウント］

● microSDカードやUSBメモリの取り外しは、マウント解除してから行ってください。

microSDカード／USBメモリのフォーマット

microSDカードやUSBメモリを初期化します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［ストレージ］

2 microSDカード／USBメモリを選ぶ▶［⋮］▶［ストレージの設定］▶［フォーマット］▶［消去してフォーマット］

3 暗証番号を入力▶［OK］

4 ［完了］

● 初期化を行うと、microSDカードやUSBメモリの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

メモリ

メモリ（RAM）の使用状況を確認します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［メモリ］

- 計測時間の変更：時間をタッチ▶時間を選ぶ
- アプリのメモリ使用状況を表示：［アプリのメモリ使用状況］

タップ＆ペイ

おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効／無効の設定ができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［タップ＆ペイ］

2 サービスを選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

データ使用量

モバイルネットワークやWi-Fiネットワーク経由のデータ使用量を確認できます。また、データ使用量に上限を設けることができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[データ使用量]

- モバイルネットワーク経由のデータ使用量が表示されます。

2 項目を選ぶ

■ データセーバー:一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を停止することで、データ使用量を抑制することができます。
・データセーバー中もデータ通信を制限しないアプリについては、[データへの無制限アクセス]から設定することができます。

■ モバイルデータ:モバイルネットワーク経由のデータ通信を利用するか設定します。

■ モバイルデータ使用量:モバイルネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示します。また、データ通信を使用したアプリも確認できます。

■ 請求期間:モバイルネットワーク経由のデータ使用量について、月単位の測定開始日や警告を発するデータ使用量を設定します。
また、[データ上限の設定]をONにすると、データ使用量が上限に達した場合にデータ通信を停止することができます。上限は[データ上限]で設定できます。
・データ使用量が上限に達すると、モバイルデータが一時停止中である旨の通知が表示されます。[OK]をタッチすると、次の請求期間までデータ通信を停止します。[再開]をタッチすると、データ通信を再開します。

■ Wi-Fi データ使用量:Wi-Fiネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示します。また、データ通信を使用したアプリも確認できます。

■ ネットワーク制限:バックグラウンドでのデータ通信を制限している際、モバイルネットワークと同様に扱われるWi-Fiネットワークを設定します。

- 表示されるデータ通信量は目安です。

もっと見る

無線とネットワークについて、その他の機能の設定を行います。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]

2 項目を選ぶ

■ 機内モード:電話やメールなど、通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。

■ NFC/おサイフケータイ 設定:NFC/おサイフケータイ 設定については☞P.42「NFC/おサイフケータイ 設定」

■ ワイヤレス出力:ワイヤレス出力については☞P.70「ワイヤレス出力」

■ VPN:VPNについて設定します。VPNについては☞P.71「VPNの追加」

■ テザリング:テザリングについては☞P.24「テザリング」

■ モバイルネットワーク:モバイルネットワークについては☞P.57「モバイルネットワーク」

■ プロキシ設定:プロキシ経由でネットワークに接続するように設定します。

[機内モード]について

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合でも、[SIMカードをロック]が有効のときは、緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。[SIMカードをロック]が無効のときは、機内モード中でも緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、[機内モード]がOFFになり、発信を行います。
- [機内モード]がONの場合でも、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をONにすることができます。

モバイルネットワーク

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[モバイルネットワーク]

2 項目を選ぶ

■ データローミング:データローミングを利用するか設定します。

■ VoLTEローミング設定:海外でVoLTEを利用できるように設定します。

■ ネットワークモード:ネットワークモードを設定します。

■ アクセスポイント名:アクセスポイントを設定します。アクセスポイントの設定については☞P.22「アクセスポイントの設定」、P.23「アクセスポイントの初期化」

■ 通信事業者:通信事業者については☞P.57「通信事業者」

■ 通信事業者

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[モバイルネットワーク]▶[通信事業者]

- データ通信の確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。
- ネットワークの検索が行われ、通信事業者の一覧が表示されます。

2 通信事業者を選ぶ

- 通信事業者の再検索:[ネットワークを検索]
- 通信事業者を自動的に選択:[自動的に選択]

位置情報

位置情報の測位について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[位置情報]

2 ONにする

- 位置情報の利用についての確認画面が表示された場合は、[いいえ]／[はい]を選択してください。

3 項目を選ぶ

■ モード：GPS衛星やWi-Fiのアクセスポイント、携帯電話の基地局を利用して位置情報を測位するモードを設定します。
■ 位置情報サービス：Googleのロケーション履歴や現在地の共有機能を設定します。
設定する場合は、Googleアカウントの設定が必要です。
■ 最近の位置情報リクエスト：位置情報を取得したアプリを表示します。表示されたアプリをタッチするとアプリ情報を表示します。

- [⋮]▶[スキャン]▶[Wi-Fiのスキャン]／[Bluetoothのスキャン]と操作すると、位置情報サービスやアプリが、位置情報の精度向上のためにWi-FiネットワークやBluetooth機器をスキャンするか設定できます。
  - ONにすると、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をOFFにしている場合もスキャンします。

- 現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります。ご利用のアプリによっては、アプリで位置情報に関する設定が必要な場合があります。

[モード]について

- 設定したモードによっては、端末の消費電力が増加しますので、あらかじめご了承ください。
- [位置情報]をONに設定すると、位置情報の利用についての確認画面が表示されます。[いいえ]／[はい]によって、設定されるモードが異なります。

ロックとセキュリティ

セキュリティロックについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ロックとセキュリティ]

2 項目を選ぶ

■ 画面ロック：電源を入れたときやディスプレイを表示させたときのタッチパネルのロック解除方法やタッチパネルのロック画面に表示する通知について設定します。
■ Smart Lock：画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しているとき、信頼できる場所や信頼できる端末、認識済みの顔などを確認した場合は、タッチパネルのロックをスワイプで解除するように設定します。
■ セキュリティキー設定：セキュリティキーを変更します。
・セキュリティキーについては☞P.59「セキュリティキー（各種機能用の暗証番号）」
■ シークレット設定：シークレット設定については☞P.59「シークレット設定」
■ SIMカードロック設定：SIMカードロック設定については☞P.60「SIMカードロック設定」
■ スマートフォンの暗号化：スマートフォンが暗号化されていることを確認できます。
■ パスワードを表示：PINコードなどを入力する際、[•]が表示される前に入力した文字を表示させることができます。
■ 端末管理アプリ：アプリのデバイス管理機能を設定します。アプリによっては、デバイス管理機能を有効にしないと利用できないものがあります。
■ 提供元不明のアプリ：Google Play以外のサイトやメールなどから入手したアプリのインストールを許可します。
■ ストレージのタイプ：ストレージのタイプを表示します。
■ 信頼できる認証情報：証明書の確認と、有効／無効の設定ができます。
■ ユーザー認証情報：認証情報を確認できます。
■ 証明書をインストール：暗号化された証明書をインストールします。
■ 認証ストレージの消去：すべての認証情報を削除します。
■ 信頼できるエージェント：タッチパネルのロックを解除するアプリ（エージェント）について設定します。
■ 画面の固定：選択したアプリ以外を使用できないようにします。操作方法については☞P.30「アプリ使用履歴」
■ 使用履歴にアクセスできるアプリ：アプリ使用履歴データにアクセスできるアプリを設定します。

[画面ロック]について

- 設定項目は次のとおりです。
  ■ なし：タッチパネルのロック画面を表示しません。
  ■ スワイプ：[🔒]を上にスライドしてロックを解除するように設定します。
  ■ パターン：4つ以上の点を結ぶパターンを設定します。
  ■ ロックNo.：4～16桁の数字を設定します。
  ■ パスワード：英字1文字以上を含んだ、4～16桁の英数字と半角記号を設定します。
  ・一部の半角記号は利用できません。
- パターン／ロックNo.／パスワードの入力を間違えると、間違えた回数に応じて一定時間ロック解除ができなくなります。
  ■ 5回連続：30秒間
  ■ 10回連続：30秒間
  10回連続して間違えた場合、それ以降に間違えるごとに30秒間入力ができません。ロックを解除すると、カウントはリセットされます。

- 画面ロックの[⚙]をタッチすると、次の項目を設定することができます。
  - ■ パターンを表示する:パターンの入力時の軌跡を線で表示します。
  - ■ 自動ロック:タッチパネルがロックされるまでの時間を設定します。
  - ■ 電源ボタンですぐにロックする:▯(⏻)を押してディスプレイの表示を消したときに、自動ロックで設定した時間にかかわらずタッチパネルをロックするか設定します。
  - ■ ロック画面メッセージ:タッチパネルのロック画面に表示するメッセージについて設定します。
- パターン/ロックNo./パスワードを忘れた場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」にお問い合わせください。

端末起動時のロック解除について

- 画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定するときは、端末を起動する際にロック解除を行うようにするかを設定できます。
- 端末起動時のロック解除の際、パターン/ロックNo./パスワードの入力を10回および20回連続して間違えると、電源を入れ直すまで入力ができません。30回連続して間違えると、端末が初期化されますので、ご注意ください。

[Smart Lock]について

- Smart Lock利用中、タッチパネルのロック画面で[🔒]などの解除アイコンをタッチすると、Smart Lockを一時無効にできます。

[提供元不明のアプリ]について

- サイトからダウンロードするアプリは情報源が不明な場合もあります。端末と個人データを保護するため、Google Playなど信頼できる情報源からのアプリのみダウンロードしてください。

[信頼できる認証情報]について

- 証明書を削除した場合、[信頼できる認証情報]からは証明書の参照ができなくなりますが、他の機能からは証明書の参照が可能なままとなります。証明書を完全に削除する場合は認証ストレージの消去を行ってください。

[認証ストレージの消去]について

- VPNの設定も削除されます。

シークレット設定

電話帳の連絡先にシークレット属性を設定し、電話帳や発着信履歴などに表示させないようにすることができます。

- シークレットモードを一時解除すると、通常の連絡先とシークレット属性設定した連絡先の両方が表示されます。
- シークレットモード一時解除中にディスプレイの表示が消えると、シークレットモードになります。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ロックとセキュリティ]▶[シークレット設定]

2 暗証番号を入力▶[OK]

- シークレットモードが一時解除されます。

3 項目を選ぶ

- ■ 連絡先シークレット設定:電話帳の連絡先にシークレット属性を設定します。
- ■ シークレットモード一時解除の設定:シークレットモード一時解除について設定します。
- ■ 使い方ガイド:シークレットモード一時解除の方法やシークレット設定した電話帳の連絡先についての説明を表示します。

シークレットモードの一時解除

1 ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグ

2 [⚙]をロングタッチ

3 暗証番号を入力▶[OK]

本端末で利用する暗証番号

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[•]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ セキュリティキー(各種機能用の暗証番号)

各制限を設定している場合、一時解除するにはセキュリティキーの入力が必要になります。お買い上げ時のセキュリティキーは[1234]に設定されていますが、お客様ご自身で変更できます(☞P.58「ロックとセキュリティ」)。

- セキュリティキーの入力を5回連続して間違えると30秒間入力ができません。

■ PINコード

PINコードは、第三者によるnanoSIMカードの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたnanoSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとnanoSIMカードが完全にロックされます。その場合は、nanoSIMカードの販売元までお問い合わせください。

SIMカードロック設定

PINコードについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［ロックとセキュリティ］▶［SIMカードロック設定］

2 項目を選ぶ

- ■ SIMカードをロック：電源を入れたときにPINコードを入力するか設定します。
- ■ SIM PINの変更：PINコードを変更します。

- 日本国内では通話可能なnanoSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 設定は通話可能なnanoSIMカードに保存されます。

PINロックの解除

1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力

2 新しいPINコードを入力

3 もう一度、新しいPINコードを入力

言語と入力

画面に表示される言語や、文字入力、テキスト読み上げなどについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［言語と入力］

2 項目を選ぶ

- ■ 言語：表示言語を選択します。
- ■ 仮想キーボード：ソフトウェアキーボードについて設定します。
- ■ 物理キーボード：Bluetoothなどで接続したキーボードについて設定します。
- ■ テキスト読み上げの出力：端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
- ■ スペルチェック：スペルチェックについて設定します。
- ■ 単語リスト：任意の単語を単語リストに登録します。
- ■ ポインタの速度：ポインタの速度を設定します。

仮想キーボードについて

- 日本語を入力するときはS-Shoinを利用してください。S-Shoinの設定については☞P.20「文字入力の設定」

［スペルチェック］について

- 日本語には対応しておりません。

バックアップとリセット

Googleアカウントによるデータのバックアップや端末間のデータ引き継ぎ、オールリセットなどを行います。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［バックアップとリセット］

2 項目を選ぶ

- ■ データのバックアップ：Googleアカウントを利用して、アプリのデータやWi-Fiパスワードなどを自動的にバックアップするか設定します。
- ■ バックアップアカウント：バックアップに利用するGoogleアカウントを設定します。
- ■ 自動復元：アプリを再インストールするときに、バックアップされたデータや設定などを復元するか設定します。
- ■ データ引継：データ引継については☞P.61「データ引継」
- ■ ネットワーク設定のリセット：ネットワークに関する設定をすべてリセットします。
- ■ オールリセット：オールリセットについては☞P.62「オールリセット」

データ引継

microSDカードを利用してデータを取り込んだり、本端末のデータをバックアップ／復元することができます。また、別の端末の電話帳データをBluetooth機能を利用して取り込むこともできます。

- microSDカードにバックアップ／復元できるデータは次のとおりです。
  - 電話帳
  - スケジュール
  - メモ帳
  - ユーザー辞書／学習辞書（S-Shoin）
  - エモパー
- microSDカードを利用したバックアップ／復元中は［機内モード］がONになります。
- 本体メモリの空き容量が11Mバイト未満のときは、microSDカードにバックアップできません。
- microSDカードを利用する場合は、あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［バックアップとリセット］▶［データ引継］

- ホーム画面にデスクトップシートを表示▶［データ引継］でも起動できます。

2 項目を選ぶ

- データ取り込み：microSDカードやBluetooth機能を利用してデータを取り込みます。
- microSDにデータ保存：microSDカードにデータを保存します。

■ バックアップファイルの保存

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［バックアップとリセット］▶［データ引継］

2 ［microSDにデータ保存］

3 暗証番号を入力▶［OK］

4 保存するデータカテゴリを選ぶ

- ［電話帳］を選択した場合は保存するアカウントの選択画面が表示されます。

5 ［保存］▶［はい］

6 ［完了］

- 電池残量が少ないときは保存できません。

■ バックアップファイルの取り込み

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［バックアップとリセット］▶［データ引継］

2 ［データ取り込み］

3 ［取り込む］

4 暗証番号を入力▶［OK］

5 取り込むバックアップファイルを選ぶ▶［追加登録］／［削除して登録］

- 確認画面が表示されます。以降は画面の指示に従って操作してください。

- 電池残量が少ないときは取り込みできません。
- ユーザー辞書／学習辞書（S-Shoin）、エモパーは追加登録できません。［追加登録］を選択しても、既存のデータが削除されますので、ご注意ください。

■ バックアップファイルの設定・管理

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［バックアップとリセット］▶［データ引継］

2 ［⋮］▶［設定］

3 項目を選ぶ

- バックアップファイルの整理：保存されているバックアップデータを削除できます。
- 電話帳画像バックアップ：電話帳のバックアップ時に電話帳に登録された画像もバックアップするか設定します。
- 結果画面閲覧：最新のバックアップファイルの保存／取り込みの結果を表示します。

■ Bluetooth機能を利用して電話帳データを取り込む

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［バックアップとリセット］▶［データ引継］

2 ［データ取り込み］

3 取り込み元の端末の種類を選ぶ

- microSDカードのバックアップデータについての確認画面が表示された場合は、［スマートフォンから電話帳データを取り込む］を選択してください。

4 ［次へ］

5 取り込み元の端末でBluetooth機能をONにする▶［次へ］

- 取り込み元の端末がAndroidの場合は、取り込み元の端末が本端末に表示されるように、取り込み元の端末を設定してください。

6 取り込み元の端末を選ぶ

7 ［開始］

- ペア設定の確認画面が表示された場合は［ペア設定する］を選択してください。

8 ［次へ］

9 ［追加登録］／［削除して登録］▶［OK］

- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

10 ［OK］

オールリセット

本体メモリ内のすべてのデータを消去します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[バックアップとリセット]▶[オールリセット]

2 [モバイル端末をリセット]

- [microSD内データも消去する]を有効にすると、microSDカード内のデータも同時に消去されます。

3 暗証番号を入力▶[OK]

4 [すべて消去]

- 消去されるデータは次のとおりです。
  - 作成、保存、登録したデータ
  - 「設定」アプリで設定した内容
  - ダウンロードしたアプリ

Google

Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[Google]

2 項目を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

日付と時刻

日時の設定や表示形式について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[日付と時刻]

2 項目を選ぶ

- 日付と時刻の自動設定:日時を自動的に補正するか設定します。
- タイムゾーンの自動設定:ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するか設定します。
- 日付設定:日付を手動で設定します。
- 時刻設定:時刻を手動で設定します。
- タイムゾーンの選択:タイムゾーンを手動で設定します。
- 24時間表示:12時間制/24時間制を切り替えます。

[日付と時刻の自動設定]を有効にしたとき

- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

ユーザー補助

ユーザー補助オプションについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

- 字幕:字幕の表示について設定します。
- 拡大操作:ディスプレイを3回タッチして拡大/縮小するか設定します。
- フォントサイズ:文字のサイズを設定します。
- 表示サイズ:画面に表示されるアイコンなどのサイズを設定します。
- ポインタが停止したらクリック:ポインタが停止した際の動作を設定します。
- 高コントラストテキスト:端末に表示される文字色のコントラストを高くして表示するか設定します。
- 電源ボタンで通話を終了:▯(⏻)を押して通話を終了するか設定します。
- 画面の自動回転:端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。
- パスワードの音声出力:パスワードの音声出力を利用するか設定します。
- 大きなマウスポインタ:ポインタを大きくするか設定します。
- モノラル音声:音声再生時のチャンネルを統合するか設定します。
- ユーザー補助のショートカット:ユーザー補助機能をすばやく有効にできるようにするか設定します。
- テキスト読み上げの出力:端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
- 押し続ける時間:ロングタッチする時間を設定します。
- 色反転:ディスプレイに表示されている色を反転するか設定します。
- 色補正:ディスプレイに表示されている色の補正について設定します。
- その他のユーザー補助サービスの利用については、画面の指示に従ってください。

[電源ボタンで通話を終了]について

- [スリープ]の設定に従ってディスプレイの表示が消えた場合は、▯(⏻)を押すとディスプレイが表示されます。ディスプレイ表示中に▯(⏻)を押すと、通話が終了します。

印刷

印刷用アプリ(プラグイン)をインストールすると、印刷機能に対応したアプリで印刷することができます。インストールした印刷用アプリ(プラグイン)の設定を変更する場合は、次の操作を行ってください。

- あらかじめ利用するプリンターに対応した印刷用アプリ(プラグイン)をインストールしておいてください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[印刷]

2 印刷サービスを選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

端末情報

端末情報の確認ができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［端末情報］

2 項目を選ぶ

- ビルド番号：ビルド番号を確認できます。
- 端末の状態：電池残量や利用中のネットワークなどを確認できます。
- センサー感度補正：モーションセンサー、地磁気センサーの取得精度を補正します。
- システムアップデート：システムアップデートについては☞P.74「システムアップデート」
- 法的情報：著作権情報や利用規約などを確認できます。
- 認証：技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
- モデル番号：モデル番号を確認できます。
- Androidバージョン：Androidバージョンを確認できます。
- Androidセキュリティパッチレベル：搭載されているセキュリティパッチがいつ配信されたものかを確認できます。
- ベースバンドバージョン：ベースバンドバージョンを確認できます。
- カーネルバージョン：カーネルバージョンを確認できます。

［センサー感度補正］について

- 補正画面が表示され、約10秒経過してから補正を行ってください。
- 補正を行う環境や同時に起動しているアプリによっては、補正に失敗することがあります。補正を行う場所を変えるか、起動中のアプリを終了させるなどしてください。

ファイル管理

ストレージ構成

本体メモリ（内部ストレージ）

端末内にデータを保存できます。

- 本体メモリのストレージ名とパスは次のとおりです。
  - ・ストレージ名：内部共有ストレージ
  - ・パス：/storage/emulated/0
- お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	端末で撮影した静止画や動画が保存されます。
Download	Chromeでダウンロードしたファイルが保存されます。
Movies	動画などが保存されます。
Music	音楽データなどが保存されます。
Notifications	お知らせ音などが保存されます。
Pictures	静止画などが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。
PRIVATE	静止画や動画、音楽データなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

microSDカード（外部ストレージ）

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

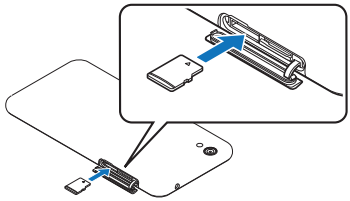
- SH-L02では市販の２Gバイトまでのmicro SDカード、32Gバイトまでのmicro SDHCカード、256GバイトまでのmicroSDXCカードに対応しています。また、スピードクラス※は最大Class 10まで使用できます（2017年５月現在）。
  ※ スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
  microSDカードの情報については、次のサイトをご覧ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shl02/peripherals/microsd.html
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後（端末で使用するための情報を書き込み中）や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります（☞P.56「microSDカード／USBメモリのフォーマット」）。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードの取り付け／取り外しは、端末を手でしっかり持って行ってください。

■ 取り付けかた

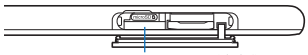
1 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを開く（☞P.15「取り付けかた」）

2 microSDカードの金属端子面を下に向けて、microSDカードスロットにゆっくりと挿入する

- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。

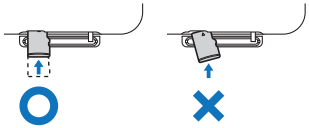


- microSDカードスロットは、nanoSIMカードスロットの左にあります。



microSDカードスロット（左側）

- microSDカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態で無理に押し込まないでください。microSDカードスロットが破損することがあります。



3 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを閉じる（☞P.15「取り付けかた」）

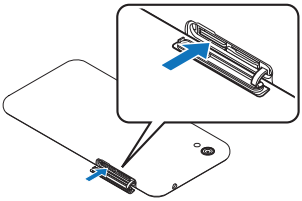
■ **取り外しかた**

- あらかじめmicroSDカードをマウント解除しておいてください（☞P.56「ストレージ」）。マウント解除していない場合、データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

1 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを開く（☞P.15「取り付けかた」）

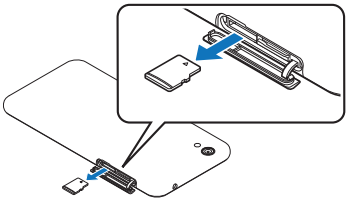
2 microSDカードを軽く押し込む

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、端末やmicroSDカードを破損させる恐れがあります。



3 microSDカードを取り外す

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。



4 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを閉じる（☞P.15「取り付けかた」）

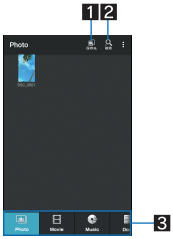
コンテンツマネージャー

本体メモリまたはmicroSDカードに保存されたデータを管理し、種類ごとに分類して表示します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［コンテンツマネージャー］

2 データを選ぶ

- 対応するアプリがインストールされている場合、データを選択すると表示することができます。
- 対応するアプリが複数インストールされている場合、アプリ選択画面が表示されることがあります。アプリを選択すると表示します。



1 保存先
- 選択した保存先にあるデータを表示できます。

2 データ検索
- 検索条件を選んで、本体メモリまたはmicroSDカード内のデータを検索できます。

3 カテゴリ
- 選択したカテゴリのデータが表示されます。

カテゴリ	表示されるデータ
Photo	端末で撮影した静止画やダウンロードした画像
Movie	端末で撮影した動画やダウンロードした動画
Music	メロディファイル
Doc.	Office系データ（.doc、.xls、.ppt、.docx、.xlsx、.pptx、.csv）、PDFデータ、Textファイル
Others	その他のデータ

- 左右にスライドするとカテゴリの表示を切り替えることができます。

■ **データの削除**

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［コンテンツマネージャー］

2 データをロングタッチ▶［削除］▶［はい］

- 選択削除：［⋮］▶［選択削除］▶削除するデータを選ぶ▶［削除］▶［はい］

■データの移動／コピー

本体メモリとmicroSDカードの間で移動／コピー

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[コンテンツマネージャー]

2 移動／コピーするデータをロングタッチ▶[移動・コピー]▶移動／コピー先を選ぶ

- 選択移動／コピー：[⋮]▶[移動・コピー]▶移動／コピー先を選ぶ▶移動／コピーするデータを選ぶ▶画面の指示に従って操作

格納するフォルダを指定して移動／コピー

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[コンテンツマネージャー]

2 [⋮]▶[ファイル管理]

3 移動／コピーするデータが格納されているフォルダを選ぶ▶[移動]／[コピー]

4 移動／コピーするデータを選ぶ▶[フォルダ選択]

5 移動／コピー先のフォルダを選ぶ▶[ここへ移動]／[ここへコピー]

データ通信

Bluetooth機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

■ 仕様

■ 対応バージョン
Bluetooth標準規格 Ver.4.2※1

■ 出力
Bluetooth標準規格 Power Class 1

■ 対応プロファイル※2（対応サービス）
HSP：Headset Profile（ヘッドセットプロファイル）※3
HFP：Hands Free Profile（ハンズフリープロファイル）※4
A2DP：Advanced Audio Distribution Profile（アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル）※5
AVRCP：Audio／Video Remote Control Profile（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル）※5
HID：Human Interface Device Profile（ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル）※6
DUN：Dial-up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）※7
OPP：Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル）※8
SPP：Serial Port Profile（シリアルポートプロファイル）※9
PBAP：Phone Book Access Profile（フォンブックアクセスプロファイル）※10
PAN：Personal Area Networking Profile（パーソナルエリアネットワークプロファイル）※11
HOGP：HID Over GATT Profile（エイチアイディーオーバーガットプロファイル）※12

※1 端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※2 Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
※3 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
※4 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。
※5 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
※6 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスをBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
※7 端末にBluetooth対応パソコンなどをBluetooth接続すると、端末をモデム代わりにしてデータ通信を行うことができます。パケット通信料がかかりますのでご注意ください。DUN接続をしている場合、本端末はモバイルネットワークを利用することができません。
※8 端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
※9 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。
※10 Bluetooth機器に本体メモリの電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。
※11 パソコンなどのネットワークに参加し、インターネット接続を共有することができます。また、端末にパソコンなどをBluetooth接続すると、Bluetoothテザリングを行うこともできます。
※12 端末にキーボードやマウスなどのBluetooth Smart機器をBluetooth接続すると、Bluetooth Smart機器から端末を操作できます。

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- DUNプロファイルで利用するアクセスポイントの設定は、パソコンやカーナビなどのBluetooth機器から変更することができます。DUNプロファイルでの接続ができなくなった場合は、アクセスポイントを初期化することをおすすめします（☞P.23「アクセスポイントの初期化」）。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、データの種別により音声が出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
  - ■ 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
  - ■ 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
  - ■ 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
  - ■ Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
  - ■ 電車内
  - ■ 航空機内
  - ■ 病院内
  - ■ 自動ドアや火災報知機から近い場所
  - ■ ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth機能の利用

- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetoothパスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[Bluetooth]

2 ONにする

3 Bluetooth機器を選ぶ▶[ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。
- Bluetooth機器を検索:[⋮]▶[更新]
- ペア設定済みのBluetooth機器の[⚙]をタッチして相手のBluetooth機器の名前や使用目的を設定できます。

- 最大7台まで同時に接続できます。プロファイルによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- [Bluetooth]をONにすると、他のBluetooth機器からの登録要求／接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索する場合は、Bluetooth画面を表示しておいてください。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください(ご覧になる取扱説明書によっては、「更新」の代わりに「検索」または「サーチ」、「ペア設定」の代わりに「ペアリング」または「機器登録」などと表記されています)。

■ Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求／接続要求

2 ステータスバーを下にドラッグ▶[ペア設定リクエスト]▶[ペア設定する]

- ペア設定の確認画面が表示された場合は[ペア設定する]を選択してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力をする場合もあります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

■ Bluetooth機器の登録解除

1 Bluetooth画面で登録を解除するBluetooth機器の[⚙]▶[削除]

■ Bluetooth機器の接続解除

1 Bluetooth画面で接続を解除するBluetooth機器を選ぶ▶[OK]

■ Bluetoothの設定

- [Bluetooth]をONにしてから設定してください。

1 Bluetooth画面で[⋮]

2 項目を選ぶ

- ■ 更新:Bluetooth機器を検索します。
- ■ この端末の名前を変更:本端末の名称を変更します。
- ■ Qualcomm® aptX™:Qualcomm aptX audioを利用するかどうか設定します。
- ■ 受信済みファイルを表示:Bluetooth通信のデータ受信履歴を表示します。

[Qualcomm® aptX™]について

- [aptX]を有効にすると、Bluetooth機器によっては音声が出力されないことがあります。その場合は[aptX]を無効にしてください。

Bluetooth通信送受信

■ データを送信

例:静止画のとき

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[コンテンツマネージャー]▶[Photo]

2 静止画をロングタッチ▶[共有]▶[Bluetooth]

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

3 接続するBluetooth機器を選ぶ

■ データを受信

1 送信側のBluetooth機器からデータ送信

2 ステータスバーを下にドラッグ▶[承諾]

3 受信したデータを選ぶ

- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

NFC通信

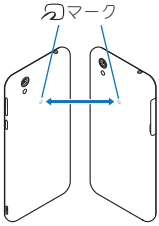
NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ＩＣカード機能やReader／Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。

Androidビーム

Reader／Writer, P2P機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- あらかじめ［Reader／Writer, P2P］を有効にし、［Android Beam］をONにしておいてください（☞P.42「NFC／おサイフケータイ設定」）。
- 機内モードやNFC／おサイフケータイ ロックを設定している場合は、Androidビームを利用できません。
- 次の場合はAndroidビームによるデータの送信ができないことがあります。
  - ■充電中
  - ■イヤホンマイク接続中
  - ■指定のmicroUSBケーブルでパソコンに接続中
- 電話帳、静止画、動画などを送受信できます。
- アプリによってはAndroidビームをご利用になれません。
- すべてのReader／Writer, P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

■Androidビームのご利用にあたって



- 図のように受信側と送信側の端末のマークを重ね合わせてご利用ください。
- データの送受信が終わるまでは、端末を動かさないでください。
- 相手の端末によっては、データを送受信しにくいことや端末を近づけた際にディスプレイの表示が消えてしまうことがあります。そのときは、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- その他の注意事項は対向機にかざす際の注意事項と同様です（☞P.42「対向機にかざす際の注意事項」）。

■データを送信

例：電話帳のとき

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［電話帳］

2 名前を選ぶ

3 相手の端末とマークを重ね合わせる

- ［タップしてビーム］が表示されます。

4 画面をタッチ

■データを受信

1 相手の端末とマークを重ね合わせる

外部機器接続

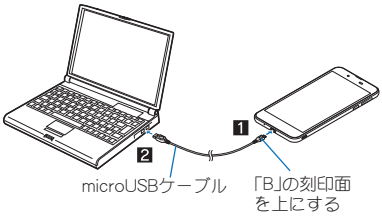
パソコンとの接続

端末とパソコンを接続することで、端末を充電したり、パソコンと本体メモリまたはmicroSDカードの間でデータを転送したりできます。

- 指定のmicroUSBケーブルで接続します。

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグを、「B」の刻印面を上にして端末の外部接続端子に水平に差し込む(1)

2 microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む(2)



- USB接続の用途についての確認画面が表示されます。表示されない場合は、ステータスバーを下にドラッグして、USB接続の用途についての通知を選んでください。

3 USB接続の用途を選ぶ

- この端末を充電する:端末の充電のみを行います。
- ファイルを転送する:MTP対応のパソコンと本体メモリまたはmicroSDカードの間でデータを転送します。
- 写真の転送(PTP):PTP対応のパソコンと本体メモリの間で静止画を転送します。
- この端末をMIDIとして利用する:端末をMIDI入力に使用します。

4 利用が終わったら、microUSBケーブルを端末とパソコンから取り外す

- USBケーブルはmicroUSBケーブルをご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはプラグ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 一度に大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、microUSBケーブルを取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10(いずれも日本語版)です。

プリントサービスによる印刷/保存

印刷用アプリ(プラグイン)を利用して画像を印刷したり、Googleドライブなどに画像を保存したりできます。

例:アルバムを利用するとき

1 アルバムの画像表示画面で[⋮]▶[プリントサービスで印刷]

2 各項目を設定

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

USBホスト機能

本端末にはUSBホスト機能が搭載されています。市販の周辺機器接続用USBケーブルを外部接続端子に接続することでマウスなどのUSB機器を利用できます。

- USBホスト機能について詳しくは、周辺機器接続用USBケーブルやUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

- すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。
- 電池残量が少なくなったり、端末の温度が低下したりするとUSB機器の接続を解除します。
- USBホスト機能の利用中は端末の動作が遅くなる場合があります。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、端末の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に端末の電源が切れることがあります。

USBメモリの取り外しについて

- USBメモリの取り外しは、USBメモリをマウント解除してから行ってください(☞P.56「ストレージ」)。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

ワイヤレス出力

端末とワイヤレス接続機能付きテレビを接続すると、端末と同じ画面をテレビに表示することができます。

- Miracast対応テレビやアダプタなど、その他のMiracast対応機器と接続することもできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[ワイヤレス出力]

2 ONにする

3 接続する機器を選ぶ

- 接続する機器によっては、設定画面が表示される場合があります。設定内容についてはご利用のMiracast対応機器の取扱説明書をご覧ください。

- 起動しているアプリや表示しているコンテンツによっては、ワイヤレス出力ができない場合があります。
- 起動しているアプリによっては、途中で終了する場合があります。
- ワイヤレス出力中は、著作権保護コンテンツを再生できないことがあります。
- 電池残量が少なくなった場合は、自動的にワイヤレス出力を停止します。
- 通話中、着信中はワイヤレス出力ができません。ワイヤレス出力中に着信があった場合は、ワイヤレス出力を停止します。
- 周囲の環境によっては、無線の干渉を受けて映像が乱れたり音飛びが発生したりする場合があります。また、接続に失敗したり、出力が切れてしまう場合があります。端末とテレビなどが障害物やその他の無線機器のない見通しの良い環境でご利用ください。

VPN（仮想プライベートネットワーク）

VPNの追加

VPN（Virtual Private Network）とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。
- あらかじめ画面ロックを［なし］や［スワイプ］以外に設定しておいてください（☞P.58「ロックとセキュリティ」）。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［もっと見る］▶［VPN］▶［＋］

2 各項目を設定▶［保存］

VPNの接続

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［もっと見る］▶［VPN］

2 接続するVPNを選ぶ

3 VPNの接続情報を入力▶［接続］

VPNの切断

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［もっと見る］▶［VPN］

2 切断するVPNを選ぶ▶［切断］

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- システムをアップデートする必要があるかをチェックして、必要な場合にはシステムをアップデートしてください（☞P.74「システムアップデート」）。
- 端末のセルフチェックを行ってください（☞P.54「セルフチェック」）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」にご相談ください。

■ 電源

- 本端末の電源が入らない
  - 電池切れになっていませんか。☞P.16「充電」
- 画面が動かない、電源が切れない
  - ▯(⏻)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。
    - バイブレータが動作したあとに手を離すと、電源が切れます。
    - 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

- 充電ができない
  充電ランプが点灯しない、または点滅する
  - 指定のACアダプターの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。☞P.17「ACアダプターで充電」
  - ACアダプターをご使用の場合、ACアダプターとmicroUSBケーブル、本端末がしっかりと接続されていますか。☞P.17「ACアダプターで充電」
  - 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。☞P.16「充電時のご注意」
  - 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
  - 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
  - 充電中は光の強さが一定のパターンで変化するように設定していませんか。☞P.52「ヒカリエモーション」

■ 端末操作

- 操作中・充電中に熱くなる
  - 操作中や充電中、また、充電しながら動画視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、ACアダプター、microUSBケーブルが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。☞P.16「充電時のご注意」
- 電池の使用時間が短い
  - 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
  - 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。☞P.75「主な仕様」
  - 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。☞P.10「内蔵電池の交換について」
- タッチしたり、キーを押したりしても動作しない
  - 端末の電源が切れていませんか。☞P.17「電源を入れる」
- タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い
  - 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。☞P.56「ストレージ」
- nanoSIMカードが認識しない
  - nanoSIMカードを正しい向きで挿入していますか。☞P.15「nanoSIMカード」
- 時計がずれる
  - 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。［日付と時刻の自動設定］が有効になっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。☞P.62「日付と時刻」
- 端末動作が不安定
  - ご購入後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
    ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。
  - セーフモードの起動方法
    電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面でタッチパネルのロック画面が表示されるまで▯(−)を押し続けてください。
    ※ 電源を入れた状態で▯(⏻)（1秒以上）▶［電源を切る］をロングタッチ▶［OK］でも、セーフモードで再起動ができます。
    また、セルフチェックからも、セーフモードで再起動ができます。☞P.54「セルフチェック」
    ※ セーフモードが起動すると画面左下に［セーフモード］と表示されます。
    ※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
  - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
  - ウィジェットが消える場合があります。
  - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
- アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）
  - 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。☞P.56「アプリの有効」
  - アプリの動作に必要な機能の利用を許可していますか。☞P.31「アプリに必要な許可」
  - 電池の最適化を行っていませんか。☞P.32「電池の最適化」

■ 通話

- 発信ができない
  - 機内モードを設定していませんか。☞P.57「もっと見る」
- 着信音が鳴らない
  - 着信音量を「0」にしていませんか。☞P.51「音」
  - マナーモード、機内モードを設定していませんか。☞P.27「マナーモード」、P.57「もっと見る」
  - 着信拒否の[着信拒否設定]を設定していませんか。☞P.35「通話設定」
- 通話ができない(場所を移動しても[ ]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)
  - 電源を入れ直すか、通話可能なnanoSIMカードを入れ直してください。☞P.15「nanoSIMカード」、P.17「電源を入れる／切る」
  - 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[ ]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
  - 着信拒否の[着信拒否設定]を設定していませんか。☞P.35「通話設定」
  - 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

- ディスプレイが暗い
  - バックライトの点灯時間を短く設定していませんか。☞P.52「ディスプレイ」
  - ディスプレイの明るさを変更していませんか。☞P.52「明るさのレベル」
  - 明るさのレベルの[明るさを自動調整]を有効にしていませんか。有効にしている場合は、周囲の明るさによって変わります。☞P.52「明るさのレベル」
  - [のぞき見ブロック]を有効にしていませんか。☞P.53「のぞき見ブロック」

■ 音声

- 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
  - 通話音量を変更していませんか。☞P.34「通話音量調節」

■ カメラ

- カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
  - SHカメラで近くの被写体を撮影するときは、フォーカス設定を[接写AF]に切り替えてください。☞P.45「静止画撮影／動画撮影の共通設定」
  - カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。☞P.43「カメラをご利用になる前に」
- モバイルライト点灯時に撮影した静止画や動画が白っぽくなる
  - カメラのレンズ周辺にケースやカバー、指などがあると、モバイルライトの光が反射して撮影した静止画や動画に悪影響を与える場合があります。

■ おサイフケータイ

- おサイフケータイが使えない
  - NFC／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。☞P.42「NFC／おサイフケータイ ロック」
  - 本端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。☞P.42「対向機にかざす際の注意事項」

■ データ管理

- データ転送が行われない
  - USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。☞P.70「パソコンとの接続」
  - USB接続の用途が[この端末を充電する]に設定されていませんか。☞P.70「パソコンとの接続」
- microSDカードに保存したデータが表示されない
  - microSDカードを取り付け直してください。☞P.64「microSDカード(外部ストレージ)」
- 画像が正しく表示されない
  - 画像データが壊れている場合は黒色の画像が表示されます。

■ Bluetooth機能

- Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない
  - Bluetooth通信対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器(市販品)、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。☞P.68「Bluetooth機能の利用」
- カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない
  - 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。☞P.17「電源を入れる／切る」

エラーメッセージ

- [SIMカードが挿入されていません - 緊急通報のみ]
  - nanoSIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。☞P.15「nanoSIMカード」
- [空き容量低下]
  - 本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動／削除を行ってください。
- [暗証番号を入力してください]
  - 暗証番号の入力が必要な機能を利用しようとした場合に表示されます。
- [緊急サービスがブロックされています。]
  [音声サービスがブロックされています。]
  [すべての音声サービスがブロックされています。]
  - 音声回線ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。
- [データサービスがブロックされています。]
  - パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。
- [モバイルネットワークが利用できません。]
  - 有効なネットワークに設定されているかご確認ください。

保証とアフターサービス

保証について

保証書は本端末に付属されております。

- お買い上げ年月日、販売店名をご確認ください。
  保証書の記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間
  お買い上げの日から1年間です(ただし電池、消耗部品は除きます)。
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失・変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが消失・変化した場合の損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
  ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

■ 補修用性能部品の保有期間

シャープ株式会社は、この製品の補修用性能部品を、製品の製造打ち切り後4年保有しています。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも異常があるときは、使用を止めて、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

■ お願い

- 本端末の改造はおやめください。
  - ■ 火災・けが・故障の原因となります。
  - ■ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - ・接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - ・外装などを純正品以外のものに交換するなど
  - ■ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

システムアップデート

SH-L02のシステムアップデートが必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じてアップデートファイルをダウンロードして、システムをアップデートする機能です。

- システムアップデートが必要な場合には、端末上あるいはシャープ株式会社のホームページにてご案内いたします。

- システムアップデートは、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態(故障、破損、水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- システムアップデートには大量のパケット通信が発生することがあります。Wi-Fi通信を利用できる場合は、Wi-Fi通信を利用しアップデートすることをおすすめします。

ご利用にあたって

- システムアップデートに必要な電池残量がないときはシステムをアップデートできません。システムアップデートを行う際は、電池をフル充電しておいてください。アップデート時は充電しながら操作することをおすすめします。
- システムアップデート(ダウンロード、書き換え)には時間がかかる場合があります。
- システムアップデート中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- システムアップデートは電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、システムアップデートを中断することがあります。
- システムアップデート中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- システムアップデートの際、お客様のSH-L02固有の情報(機種や製造番号など)が、当社のシステムアップデート用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、システムアップデート以外の目的には利用いたしません。
- システムアップデートに失敗すると、本端末が使用できなくなる場合があります。本端末が使用できなくなった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- システムアップデート中は、他のアプリを起動しないでください。

システムのアップデート

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［端末情報］▶［システムアップデート］

- システムアップデートが必要な場合は、システムアップデート用データをダウンロードすることができます。以降は画面の指示に従って操作してください。
- ステータスバーに［回］が表示されている場合は、ステータスパネルからシステムアップデートを利用することができます。

- システムアップデートの必要がないときには、［お使いのシステムは最新の状態です。］と表示されます。
- アップデート中は、すべてのキー操作が無効となります。アップデートを中止することもできません。
- システムアップデートに失敗したときや中止されたときは、システムアップデートを実行し直してください。

主な仕様

■ 本体（SH-L02）

ディスプレイ	約5.0インチ、約1,677万色、IGZO、1,280×720（HD）
質量	約138g（内蔵電池含む）
サイズ（幅×高さ×厚さ）	約71mm×143mm×8.3mm（最厚部：約8.4mm）
メモリ（内蔵）	RAM：約２Gバイト Internal Storage：約16Gバイト
連続通話時間（国内）	約1,440分
連続通話時間（海外（GSM））	約1,070分
連続待受時間（国内）	約950時間
連続待受時間（海外（GSM））	約1,070時間
連続テザリング時間	約900分
Wi-Fiテザリング最大接続数	10台
充電時間	共通ACアダプタ05（0501PWV）（別売）使用時：約140分※1 ACアダプター SH-AC03使用時：約240分※1
撮像素子	アウトカメラ CMOSイメージセンサー インカメラ CMOSイメージセンサー
有効画素数	アウトカメラ 約1,310万画素 インカメラ 約500万画素
Bluetooth機能	通信方式：Bluetooth標準規格Ver.4.2 出力：Bluetooth標準規格Power Class 1 通信距離※2：見通しの良い状態で10m以内 対応Bluetoothプロファイル※3：GATT、HSP、HFP、A2DP、AVRCP、OPP、SPP、PBAP※4、HID、PAN、PAN NAP、PANU、aptX、HOGP※5、DUN※6 使用周波数帯：2.4GHz帯
ネットワーク環境	IEEE802.11b/g/n（2.4GHz）準拠
インターフェース	microUSB端子、3.5φ（４極）イヤホンマイク端子（対応イヤホン：３極ヘッドホン（Lch／Rch／GND）、４極マイク付きイヤホン（Lch／Rch／GND／MIC））

※1　使用するACアダプターによっては充電時間が異なる場合があります。
※2　通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※3　Bluetooth機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth標準規格で定められています。
※4　電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。
※5　Bluetooth標準規格Ver.4.0に対応したプロファイルとなります。
※6　一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。

- 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.8 V
公称容量	2700 mAh

■ ACアダプター（SH-AC03）

電源	AC100V～240V、50／60Hz共用
出力電圧／出力電流	DC5.0V／800mA
充電温度範囲	5 ℃～35℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約50mm×約38mm×約25mm（電源プラグ、突起部除く）

■ microUSBケーブル（SH-AC03）

ケーブルの長さ	約1.0m

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種【SH-L02】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.555W/kg（※2）、身体に装着した場合のSARの最大値は0.568W/kg（※2）です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

※1　技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2　この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ：
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○一般社団法人電波産業会のホームページ：
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
○シャープ株式会社のホームページ：
http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/other/shl02/index.html

Regulatory information

CE

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SH-L02 is in compliance with Directive 2014/53/EU.
The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

Manufacturer's Address:
Sharp Corporation, IoT Communication BU
2-13-1 Iida Hachihonmatsu
Higashihiroshima-City
Hiroshima,
739-0192
Japan

● **Description of accessories**

Headset, Handsfree	Φ3.5 audio jack, Bluetooth.
microUSB cable	For Charging, Peripherals, etc.
microSD Card	microSD/microSDHC/microSDXC
nano UIM card	The card provided by the Carrier. The handset is "Unlocked" Smartphone.

● **Frequency range of supported bands in EU**

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8 MHz Rx 925.2 to 959.8 MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8 MHz Rx 1805.2 to 1879.8 MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480 MHz Rx 2402 to 2480 MHz
WLAN 2.4 GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (Bandwidth: 20 MHz only)
NFC	Tx/Rx 13.56 MHz
GNSS	GPS: Rx L1 (1575.42 MHz) GLONASS: Rx G1 (1598.0625 to 1605.375 MHz)

● **Maximum transmit power**

GSM 900	+33 dBm (Power Class4)
DCS 1800	+30 dBm (Power Class1)
WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
Bluetooth	+4.3 dBm (Power Class1)
WLAN 2.4 GHz	+11.0 dBm
NFC	-10 dBμA/m at 10 m

Mobile Light

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.

Be especially careful not to shoot small children from a very close distance.
Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

AC Adapter

Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

Battery - CAUTION

Use specified Charger only.

Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

The battery is embedded inside the product. Avoid removing the embedded battery since this may cause overheating or bursting.

Do not dispose of the product with ordinary refuse. Follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5℃ and 35℃; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

Volume Level Caution

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 119.0 mV.

Stand-by Mark

⏻: This symbol means the stand-by on/off.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.510 W/kg※ and when worn on the body is 1.340 W/kg※.
For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
- The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the About phone & the Authentication under the Settings menu.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

Highest SAR value:

Model	SH-L02
FCC ID	APYHRO00243
At the Ear	0.69 W/kg
On the Body	0.94 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety.

輸出管理規制

本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。
  また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
  文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- CosmoSiaは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよびLCFONT®は、シャープ株式会社の登録商標です。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi Direct™、Miracast™、Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected Setupロゴはwi-Fi Alliance®の商標です。
  The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
  この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
  この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2017 All Rights Reserved.
  iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2017 All Rights Reserved.
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd.
  Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries, used with permission.
  aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.
- 本製品の音声合成ソフトウェアにはHOYAサービス株式会社のVoiceTextを使用しています。VoiceTextは、Voiceware社の登録商標です。
- Google、Google ロゴ、Android、Google Play、Google Play ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、Google カレンダー ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、YouTube、YouTube ロゴ、Google ドライブ、Google ドライブ ロゴ、Google™ 検索、Google 検索 ロゴ、Google フォト™は、Google Inc. の商標です。
- 「AQUOS」、「Feel Home」、「Bright Keep」、「フレーミングアドバイザー／FramingAdviser」、「ワンタッチシャッター」、「おすすめオート」、「おすすめプラス」、「あとからキャプチャー」、「「書」メモ」、「エモパー／emopa」、「エモパーメモ」、「エモパーヘルスケア」、「エモパーク／emopark」、「エスショイン／S-Shoin」、「クリップナウ／Clip Now」、「ヒカリエモーション」、「長エネスイッチ」、「リラックスビュー／Relax View」、「リラックスオート」、「からだメイト」、「AQUOS」ロゴはシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
  - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ（以下「MPEG-4ビデオ」と記載します）を符号化すること。
  - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
  - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。

  その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
  - タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
  - 永久記録および／または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。

  追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.comをご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.comをご参照ください。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術はFraunhofer IIS及びThomsonから実施許諾されています。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
  - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。
  - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[端末情報]▶[法的情報]▶[オープンソースライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License(MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/

索引

あ

アイコンの見かた.....25
アカウントを追加.....39
明るさのレベル.....52
明るさを自動調整.....52
アクセスポイントの初期化.....23
アクセスポイントの設定.....22
アクセスポイント名.....57
アシストと音声入力.....56
あとからキャプチャー.....46
あなたについて.....54
アプリ.....56
アプリ一覧.....29
アプリ使用履歴.....30
アプリ初回起動時の確認画面について.....31
アプリに必要な許可.....31
アプリの権限.....32
アプリの購入.....41
アプリの設定.....56
アプリ非表示.....29
アプリを削除.....29
アラーム.....47
アラーム・時計.....47
アラームの音量.....51
アルバム.....45
安全上のご注意(必ずお守りください).....3
位置情報.....58
位置情報サービス.....58
位置情報付加.....45
色反転.....62
色補正.....62
インカメラ美肌調整.....44
インカメラレンズ補正.....44
印刷.....62
上方向スライド.....21
絵・記・顔の連続入力.....21
絵文字・記号リスト列数.....20
エモパー.....54
エモパー選択.....54
エモパー使い方ガイド.....54
エモパーの音量.....51
エモパーの記憶.....54
エモパーの話題.....54
エモパーヘルスケア.....54
エモパーメモ.....54
大きなマウスポインタ.....62
オールリセット.....62
おサイフケータイ.....41
「おサイフケータイ対応サービス」の利用.....41
おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって.....41
押し続ける時間.....62
お知らせ通知.....52
おすすめオート.....45
おすすめプラス.....44
音.....51
主な仕様.....75
音声・伝言メモ.....35

か

カーネルバージョン.....63
ガイド言語設定.....35
ガイドタブ表示設定.....28
ガイドの表示速度.....21
顔文字リセット.....21
学習辞書リセット.....21
拡大操作.....62
各部の名称と機能.....14
画質設定.....52
画質モード.....52
仮想キーボード.....60
壁紙.....52
カメラの設定.....44
カメラをご利用になる前に.....43
画面の明るさを落とす時.....52
画面の固定.....58
画面の自動回転.....62
画面表示／アイコン.....25
画面ロック.....58
からだメイト.....49
カレンダー.....48
カレンダーの設定.....49
キー操作音.....21
キー操作バイブ.....21
キー操作バイブ時間.....21
キー入力ガイド表示.....20
キーボード調整.....20
キーボードの見かた.....20
機内モード.....57
機能紹介.....45
機能利用中の操作.....18
基本操作.....18
基本動作について.....54
強弱設定.....53
共有メニューの表示.....53
切替条件設定.....55
緊急警報.....52
緊急通報.....33
クイック返信.....35
グループの利用.....36
携帯電話機の比吸収率(SAR)について.....76
結果画面閲覧.....61
言語.....60
言語と入力.....60
検索エンジン.....40
高コントラストテキスト.....62
更新.....68
国際発信設定.....35
この端末の名前を変更.....68
この端末を充電する.....70
この端末をMIDIとして利用する.....70
コンテンツマネージャー.....65

さ

再起動.....17
最近の位置情報リクエスト.....58
サイズ変更.....29
サイトの設定.....40
サイトの表示.....39
撮影画面の見かた.....43
シークレット設定.....59
シークレットモード一時解除の設定.....59
時間設定
　ヒカリエモーション.....52
　リラックス設定.....52
時刻設定.....62
システムアップデート.....74
下方向スライド.....21
自動大文字変換.....21
自動カーソル移動.....21
自動スペース入力.....21

自動復元.....60
字幕.....62
写真サイズ.....44
写真の転送(PTP).....70
就寝時に暗くする.....52
充電.....16
充電開始時.....52
充電時は明るくする.....52
充電中.....52
終話時.....52
受信済みファイルを表示.....68
省エネ＆バッテリー.....55
詳細設定.....55
証明書のインストール.....23
証明書をインストール.....58
使用履歴にアクセスできるアプリ.....58
ショートカットを貼付け.....29
初期設定
　エモパー.....54
　初期設定.....22
白とび／黒つぶれ表示.....45
新規フォルダに入れる.....29
信頼できるエージェント.....58
信頼できる認証情報.....58
水準器.....45
スクリーンショットの撮影.....19
スクリーンセーバー.....52
スクロールオート.....53
スクロールオート ON／OFF設定.....53
スケジュールの削除.....49
スケジュールの作成.....48
ステータスバーへの通知.....53
ステータスパネルの利用.....26
ストップウォッチ.....48
ストレージ.....56
ストレージのタイプ.....58
スペルチェック.....60
スマートフォンの暗号化.....58
スリープ.....52
スレッドの削除.....39
請求期間.....57
静止画の撮影.....44
世界時計.....48
セキュリティキー設定.....58
設定メニュー.....51
設定リセット
　各種リセット.....21
　静止画撮影／動画撮影の共通設定.....45
セルフチェック.....54
全件削除.....53
センサー感度補正.....63
全般.....49
全般設定.....39
その他の音.....52
ソフトキーボード表示.....20

た

体験しよう！
　スクロールオート.....53
　モーションでON／OFF.....54
対向機にかざす際の注意事項.....42
対象アプリ設定.....53
タイマー
　アラーム・時計.....48
　静止画撮影／動画撮影の共通設定.....45
タイムゾーンの自動設定.....62
タイムゾーンの選択.....62
タイムラプス.....45
ダウンロード辞書.....21
タッチパネルの操作.....18
タップ＆ペイ.....56
単語リスト.....60
端末が回転したとき.....52
端末管理アプリ.....58
端末情報.....63
端末内やサイトの情報の検索.....19
端末の状態.....63
知的財産権について.....79
着信音.....51
着信音の音量.....51
着信拒否.....35
着信時のバイブ.....51
着信時のバイブパターン.....51
着信／充電ランプ.....25
着信転送・お留守番サービス.....35
注意事項.....54
長エネスイッチ.....55
長エネスイッチの概要.....55
ちらつき防止.....45
通知.....51
通知を非表示.....51
通話設定.....35
通話中の操作.....34
使い方ガイド
　シークレット設定.....59
　Clip Now.....53
つながり予測.....21
提供元不明のアプリ.....58
ディスプレイ.....52
データ使用量.....57
データセーバー
　データ使用量.....57
　Chromeの設定.....40
データ取り込み.....61
データのバックアップ.....60
データの表示／非表示.....45
データの振り分け.....45
データ引継.....61
データローミング.....57
テーマ設定.....28
手鏡.....45
テキスト読み上げの出力
　言語と入力.....60
　ユーザー補助.....62
テザリング.....24
デフォルトのアラーム音.....51
デフォルトの通知音.....51
電源ボタンで通話を終了.....62
電源ボタンを２回押してカメラを起動.....52
電源を入れる／切る.....17
電源を切る.....17
電卓.....49
電池.....55
電池残量で切替.....55
電池残量%表示.....52
電池の最適化.....32
電話.....33
電話アプリ.....56
電話着信中.....52
電話着信パターン／カラー.....52
電話帳.....35
電話帳画像バックアップ.....61
電話帳名前データと連携.....21
電話帳のインポート／エクスポート.....25
電話帳の確認／利用.....36
電話帳の削除.....36
電話帳の登録.....35

電話帳の編集.....36
電話を受ける.....34
電話をかける.....33
動画サイズ.....44
動画の撮影.....44
特別なアクセス.....56
トグル入力.....21
ドック表示設定.....28
トラブルシューティング(FAQ).....72
取り扱い上のご注意.....8

な

内蔵電池の交換について.....10
なぞり動作設定.....53
入力ミス補正.....21
認証.....63
認証ストレージの消去.....58
ネット変換エンジン.....21
ネットワーク制限.....57
ネットワーク設定のリセット.....60
ネットワークの通知.....23
ネットワークモード.....57
のぞき見ブロック
　ディスプレイ.....53
　のぞき見ブロック.....53

は

はがす.....29
パスワードの音声出力.....62
パスワードの保存.....40
パスワードを表示.....58
パソコンとの接続.....70
バックアップアカウント.....60
バックアップとリセット.....60
バックアップファイルの整理.....61
発信者番号通知.....35
発着信履歴.....35
発着信履歴の削除.....35
花火撮影.....45
ヒカリエモーション.....52
左方向スライド.....21
日付設定.....62
日付と時刻.....62
日付と時刻の自動設定.....62
表示サイズ
　ディスプレイ.....52
　ユーザー補助.....62
ビルド番号.....63
ファイルを転送する.....70
フォーカス設定.....45
フォームへの自動入力.....40
フォントサイズ.....62
ブックマーク.....40
プッシュ信号の入力.....33
物理キーボード.....60
プライバシー.....40
ブラウザアプリ.....56
フリック感度.....21
フリップカバー使用時の表示.....53
プリントサービスによる印刷／保存.....70
フルマニュアル項目選択.....45
フレーミングアドバイザー.....44
プロキシ設定.....57
プロフィール
　設定.....51
　電話帳.....37
ベースバンドバージョン.....63
ヘルプ.....45
変換辞書の更新.....21
便利機能.....53
ポインタが停止したらクリック.....62
ポインタの速度.....60
防水／防塵性能.....11
法的情報.....63
ホームアプリ.....56
ホーム画面の管理.....28
ホーム画面の見かた.....28
ホーム切替.....31
ホーム設定.....29
ホームページ.....40
ホームポジション設定.....28
ポケットに入れて消灯.....54
保証とアフターサービス.....74
保存先設定.....45
保存済みネットワーク.....23
本製品のご利用について.....2
本体メモリ(内部ストレージ).....64
本端末で利用する暗証番号.....59

ま

マイク設定.....44
マップ.....46
マルチウィンドウ.....31
右方向スライド.....21
メールいきなり予測.....21
メール／ウェブブラウザ.....38
メールのアカウントの設定.....24
メールの表示.....38
メールの返信／転送.....39
メディアの音量.....51
メモリ.....56
モーションでON／OFF.....54
モード.....58
目次.....1
文字削除キー動作.....21
文字入力.....20
文字入力のしかた.....21
文字入力の設定.....20
文字フォント設定.....52
持つと画面点灯.....54
もっと見る.....57
モデル番号.....63
モノクロ.....45
モノラル音声.....62
モバイルデータ.....57
モバイルデータ使用量.....57
モバイルネットワーク.....57

や

ユーザー辞書.....21
ユーザー認証情報.....58
ユーザー補助.....62
ユーザー補助機能.....40
ユーザー補助のショートカット.....62
輸出管理規制.....78
よくある質問(FAQ).....54
予測変換.....21
読取カメラ.....45

ら

リサイクルについて.....11
リラックスオート.....52
リラックスオートの概要.....52

リラックス設定.....52
リラックスビュー.....52
履歴.....40
リンクを開く.....56
レイアウト設定.....28
連絡先シークレット設定.....59
ローマ字キーボード補助.....21
ロック解除時.....52
ロックとセキュリティ.....58
ロックNo.初期化.....42
ロックNo.変更.....42

わ

ワイヤレス出力.....70
ワイルドカード予測.....21
割込通話設定.....35
ワンタッチシャッター.....44

英数字

24時間表示.....62
ACアダプターで充電.....17
Androidセキュリティパッチレベル.....63
Androidバージョン.....63
Androidビーム.....69
Android Beam.....42
Bluetooth機能.....67
Bluetooth機能の利用.....68
Bluetooth通信送受信.....68
Bluetoothテザリング.....24
Bright Keep.....54
Chrome.....39
Chromeについて.....40
Chromeにログイン.....40
Chromeの設定.....40
Clip Now.....53
Clip Now ON／OFF設定.....53
CosmoSia.....38
FCC Notice.....78
Gmail.....38
Gmailから予定を作成.....49
Gmailの設定.....39
Google.....62
Googleなどのアカウントの設定.....24
GPS機能の利用.....46
GPS／ナビ.....46
HDR.....44
IPアドレス.....23
ISO感度.....44
MACアドレス.....23
microSDカード(外部ストレージ).....64
microSDカード／USBメモリのフォーマット.....56
microSDにデータ保存.....61
microUSBケーブルで充電.....17
nanoSIMカード.....15
NFC／おサイフケータイ 設定.....42
NFC／おサイフケータイ ロック.....42
NFC通信.....69
PHOTOSHOW(Webページ).....45
PINロックの解除.....60
Play ストア.....41
Qualcomm® aptX™.....68
Reader／Writer, P2P.....42
Regulatory information.....77
SHカメラ.....43
SHSHOW.....45
SIMカードロック設定.....60
SIMカードをロック.....60
SIM PINの変更.....60
Smart Lock.....58
SMSアプリ.....56
USBテザリング.....24
USBホスト機能.....70
VoLTEローミング設定.....57
VPN.....57
VPNの接続.....71
VPNの切断.....71
VPNの追加.....71
Wi-Fi データ使用量.....57
Wi-Fiテザリング.....24
Wi-Fiテザリング簡単接続.....24
Wi-Fiテザリングを設定.....24
Wi-Fiのスリープ設定.....23
Wi-Fiの設定.....23
Wi-Fi Direct.....23
WPSプッシュボタン.....23
WPS PIN入力.....23
YouTube.....47

Li-Ion00

やめましょう、
歩きスマホ。

キケン！
水ぬれ充電

製造元：シャープ株式会社

2017年5月第1版